

「鳥飼まちづくりグランドデザインアンケート調査」報告書

令和2年7月20日から8月11日にかけて実施した、「鳥飼まちづくりグランドデザインアンケート調査」の集計を行いました。以下に集計結果をお示しします。

【アンケート調査概要】

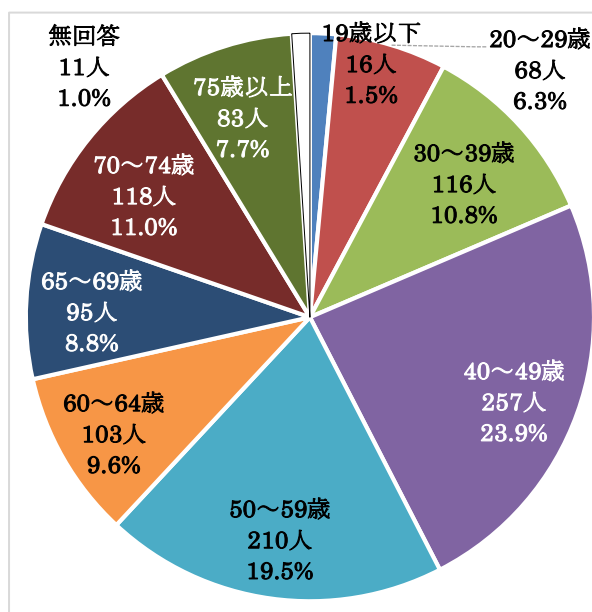
調査対象	<ul style="list-style-type: none">鳥飼地域に住民票のある18歳以上の男女（令和2年7月1日現在）3,000人を無作為抽出上記以外に自治会長40人
回答期間	<ul style="list-style-type: none">（当初）7月20日（月）～8月11日（火）アンケートへの協力御礼状兼督促状を発送し、未回答の方は8月18日（火）までに回答依頼
有効配布数	3,032件
回収数(8月31日時点)	<ul style="list-style-type: none">有効回答数：1,077件有効配布数に対する有効回答数の割合：35.52%

- 7月20日～8月11日を回答期間としましたが、回収率が当初見込みを下回っていたため、8月18日まで回答期間を延長しました。
- この報告書は、8月31日までに到着した総有効回答数1,077件分についての最終報告です。
- 回答者が記述している箇所については、原文のまま表記しています。

●問1（1） あなた自身のことについて、おたずねします。～回答者の年齢～

- ・アンケート回答者のうち、40歳～49歳の方が最も多い23.9%(257人)を占めた。
- ・39歳以下を若年層、40～64歳を中年層、65歳以上を高年齢層とした場合、構成比はそれぞれ
若年層：18.6%（200人）、中年層：52.9%（570人）、高年齢層：27.5%（296人）であった。

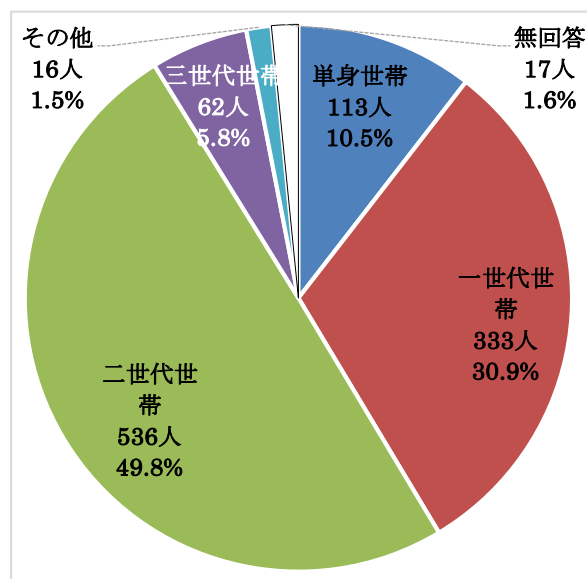
選択項目	回答実数	構成比
1. 19歳以下	16人	1.5%
2. 20～29歳	68人	6.3%
3. 30～39歳	116人	10.8%
4. 40～49歳	257人	23.9%
5. 50～59歳	210人	19.5%
6. 60～64歳	103人	9.6%
7. 65～69歳	95人	8.8%
8. 70～74歳	118人	11.0%
9. 75歳以上	83人	7.7%
無回答等	11人	1.0%
総計	1,077人	100.0%



●問1（2） あなた自身のことについて、おたずねします。～回答者の家族構成～

- ・アンケート回答者のうち、夫婦と子どもからなる世帯などを中心とした二世帯世帯が49.8%（536人）を占め、最も多くなっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. 単身世帯	113人	10.5%
2. 一世帯世帯	333人	30.9%
3. 二世帯世帯	536人	49.8%
4. 三世帯世帯	62人	5.8%
5. その他	16人	1.5%
無回答等	17人	1.6%
総計	1,077人	100.0%



●問1（3） あなた自身のことについて、おたずねします。～回答者のお住まいの場所～

（回答者全体）

- 回答者の住所を小学校区別にみると

鳥飼小学校区：19.2%（207人） 鳥飼西小学校区：36.0%（388人）

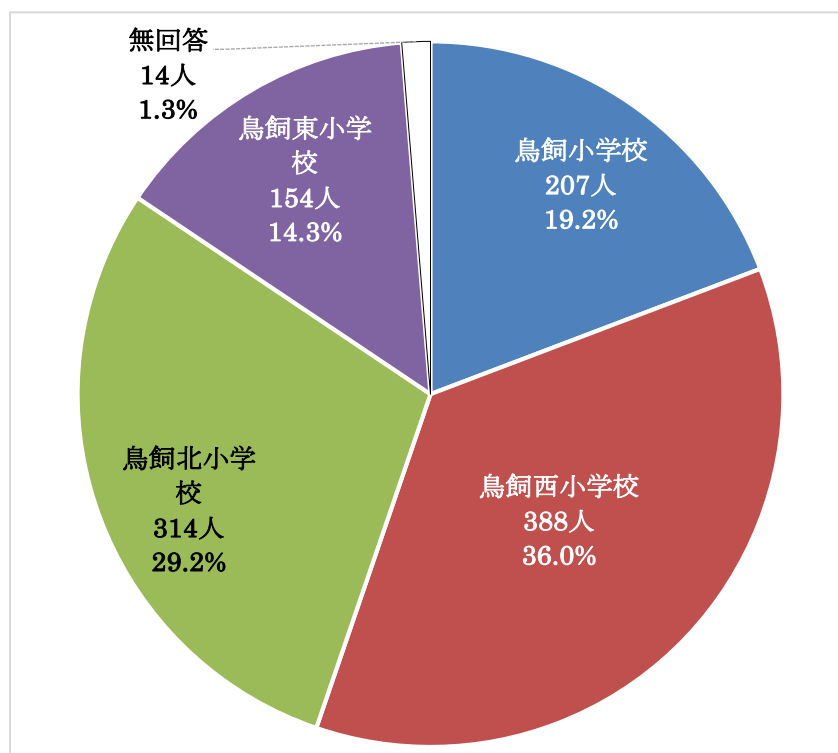
鳥飼北小学校区：29.2%（314人） 鳥飼東小学校区：14.3%（154人）

となっており、鳥飼西小学校区が最も多かった。

- 配布数に対する回答割合は鳥飼・鳥飼西小学校区が40%近い値であった一方、鳥飼北・鳥飼東小学校区は30%程度であった。

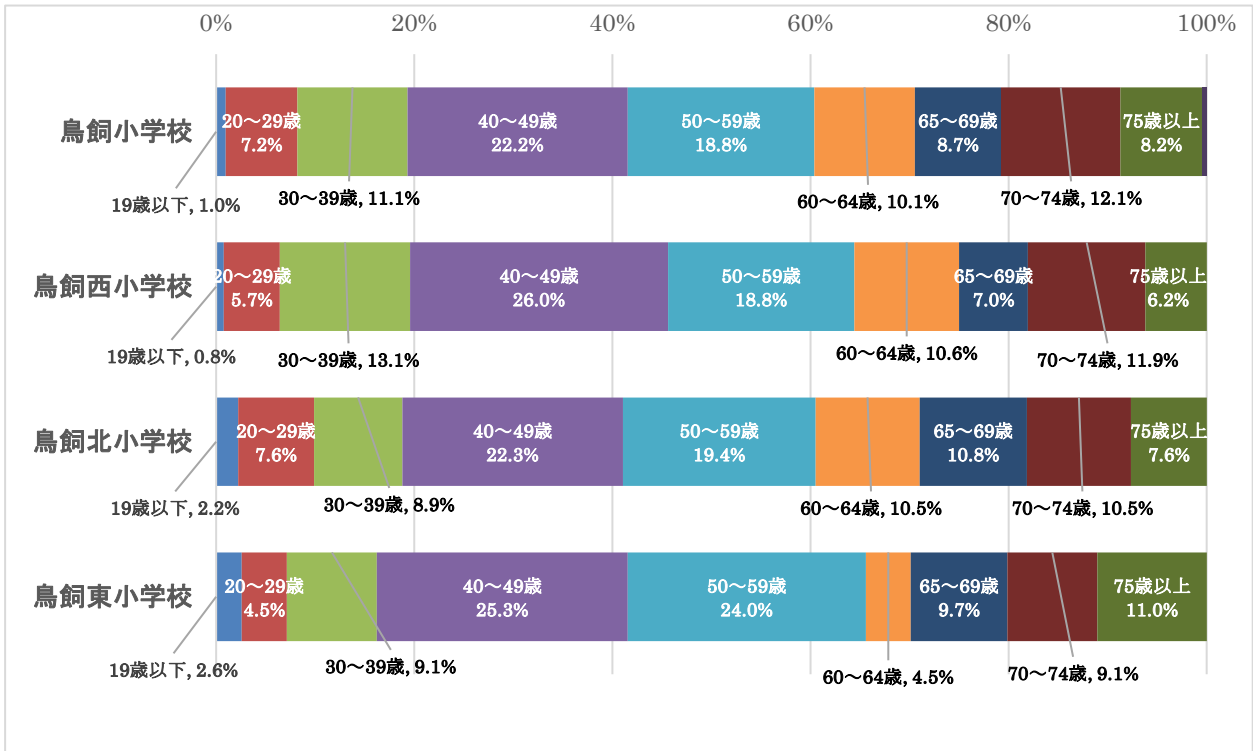
選択項目	回答実数	構成比	配布数に対する割合
1. 鳥飼小学校	207人	19.2%	41.4%
2. 鳥飼西小学校	388人	36.0%	38.8%
3. 鳥飼北小学校	314人	29.2%	31.4%
4. 鳥飼東小学校	154人	14.3%	30.8%
無回答等	14人	1.3%	—
総計	1,077人	100.0%	—

回答者校区別構成比



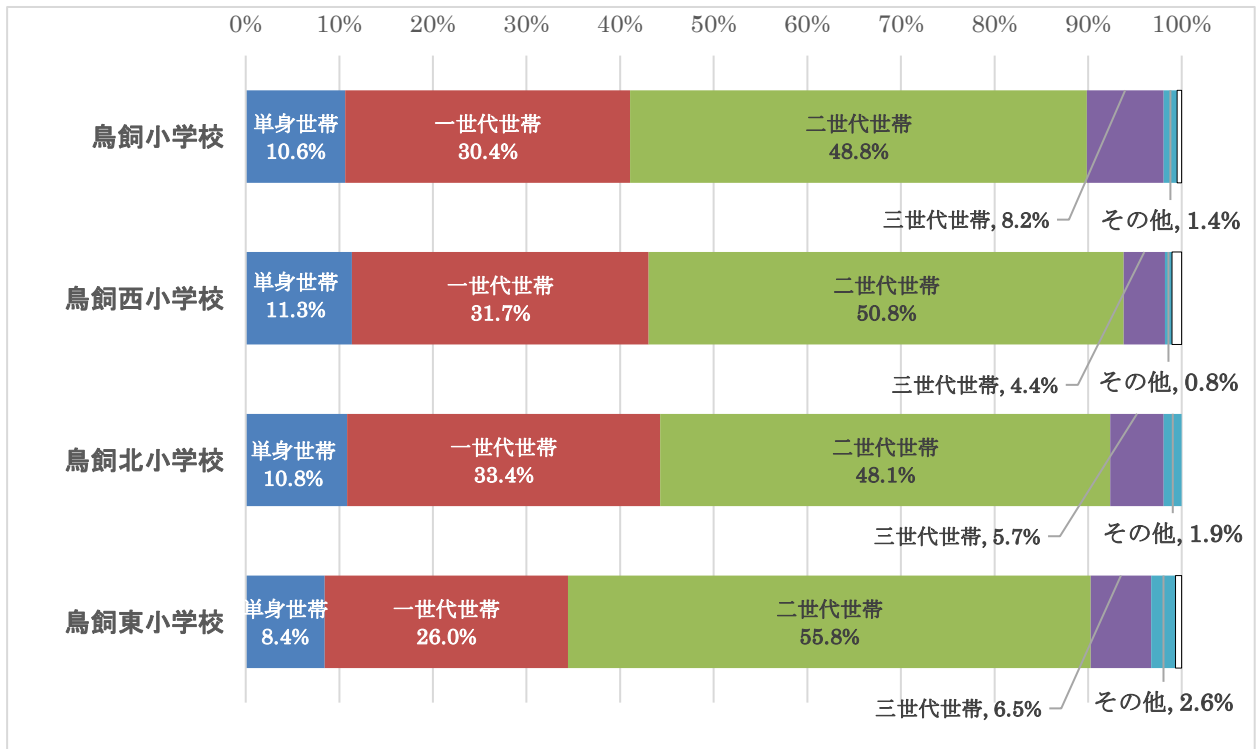
(小学校区別の回答者の年齢階層)

- 回答者の小学校区別の年齢階層を見ると、鳥飼西小学校区では高齢層が少なく若年・中年層の比率がやや高くなっている。
- また、鳥飼東小学校区では、40～49歳の階層が25.3%、50～59歳の階層が24.0%を占める一方、39歳以下の若年層は16.2%で他学区と比べ比率が低い。



(小学校区別の回答者の家族構成)

- 小学校区別の回答者の家族構成では、鳥飼東小学校区で単身世帯や一世代世帯が少なく、二世代世帯が55%以上を占めているのが特徴的である。



●問2 高齢化について

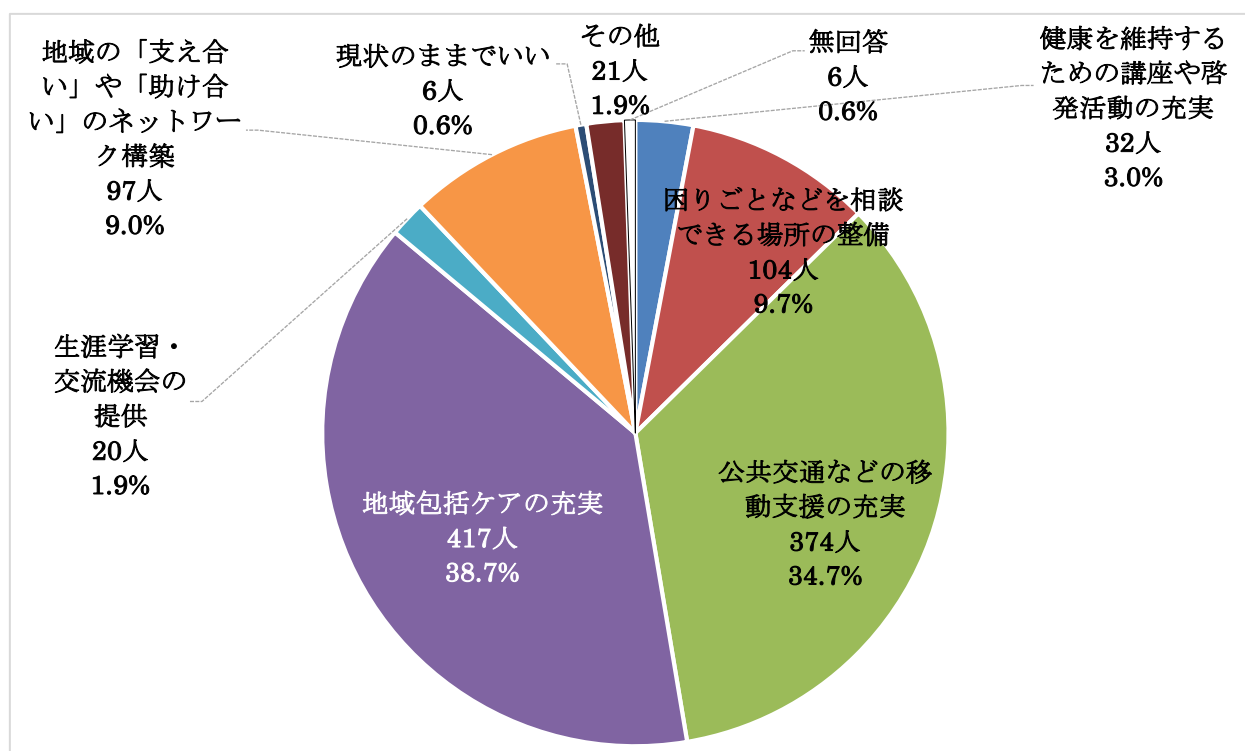
鳥飼地域は、摂津市の中でも特に高齢化が進んでおり、さらに加速していく想定です。

今後、より進行していく高齢化社会の視点から特に望ましいと思う取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- 「地域包括ケアの充実」を最重視する方が最も多く 38.7%（417人）を占め、次いで「公共交通などの移動支援の充実」が 34.7%（374人）を占めている。この2選択肢だけで7割以上を占め、他の選択肢はいずれも一桁のポイントである。

選択項目	回答実数	構成比
1. 健康を維持するための講座や啓発活動の充実	32人	3.0%
2. 困りごとなどを相談できる場所の整備	104人	9.7%
3. 公共交通などの移動支援の充実	374人	34.7%
4. 地域包括ケアの充実	417人	38.7%
5. 生涯学習・交流機会の提供	20人	1.9%
6. 地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築	97人	9.0%
7. 現状のままでいい	6人	0.6%
8. その他	21人	1.9%
無回答等	6人	0.6%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

4の理想のGoalである”地域づくり”の人材育成、多職種連携の新事業づくり

茨木、阪急、寝屋川、枚方への移動充実。買い物に不便。病院が少ない！

家族形成期世帯への支援の充実

近隣市との合併。行政、公共サービスの高率化、コスト削減

車がないとスーパー等買い物が出来ない

健康維持の観点から運動器具が整った”健康運動公園”の設置

高齢化は防ぎきれない難題。若年層が転入したくなるような魅力のある町づくり 商業施設の拡充

コミュニティのコンパクト化、分散している（過疎化している）コミュニティを集中させる

シニア向け住宅の建築

市民税を半額

狭い歩道を広くしたほうが良い。シルバーカートなど押してる人が歩道が歩きにくい為、道路を歩いている為。通学路にもなっている。

総合病院が出来るとありがたい

地下鉄の駅やモノレールの駅の増加など交通機関の発展と進展

道路（歩道）などインフラ整備

独身者対象の交流支援（お見合い等）は少子化対策に！

どんな病気でも安心して行ける市民病院

歩道の段差やアップダウンの激しさを軽減

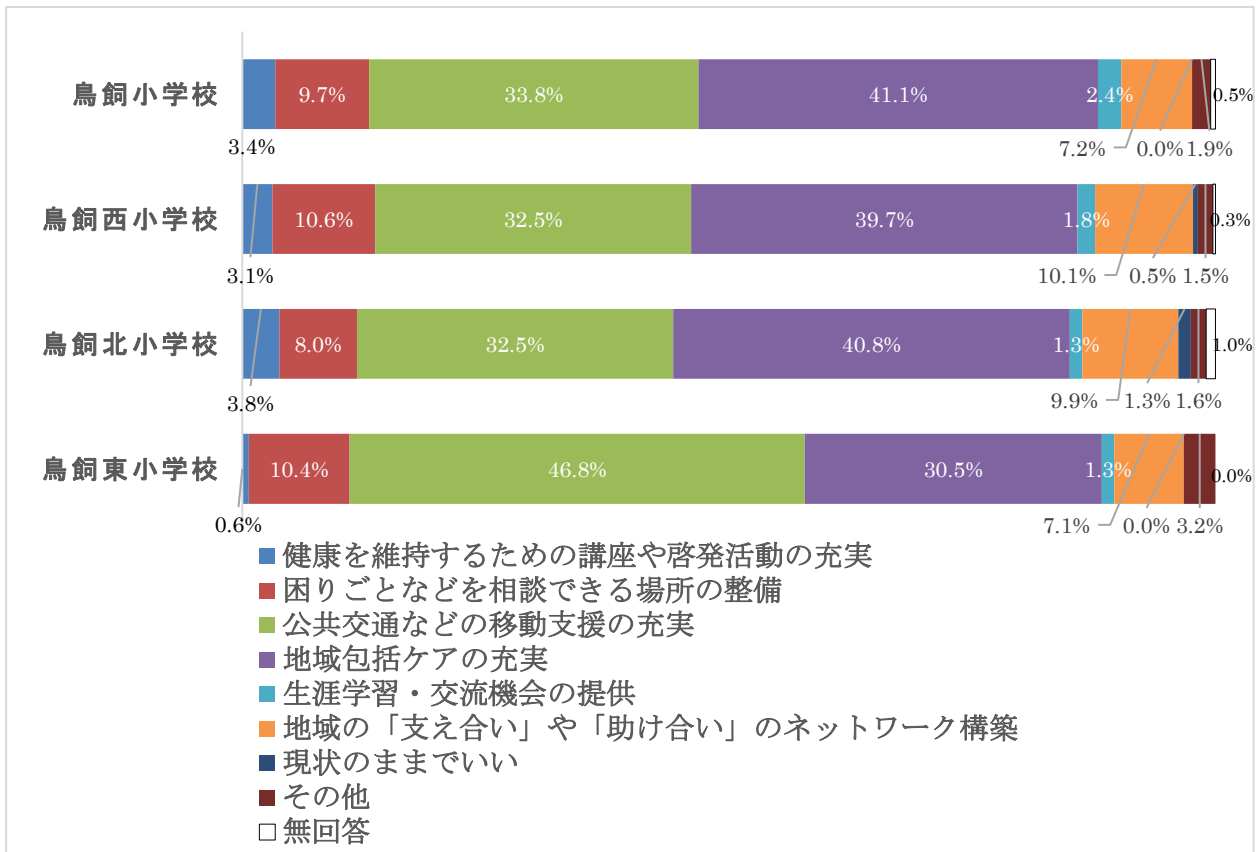
若い子育て世代が摂津市に住みたいと思えるような環境の充実

若い世代が高齢者になり、地域を担わなければならないという若い世代の意識改革

未記入 2件

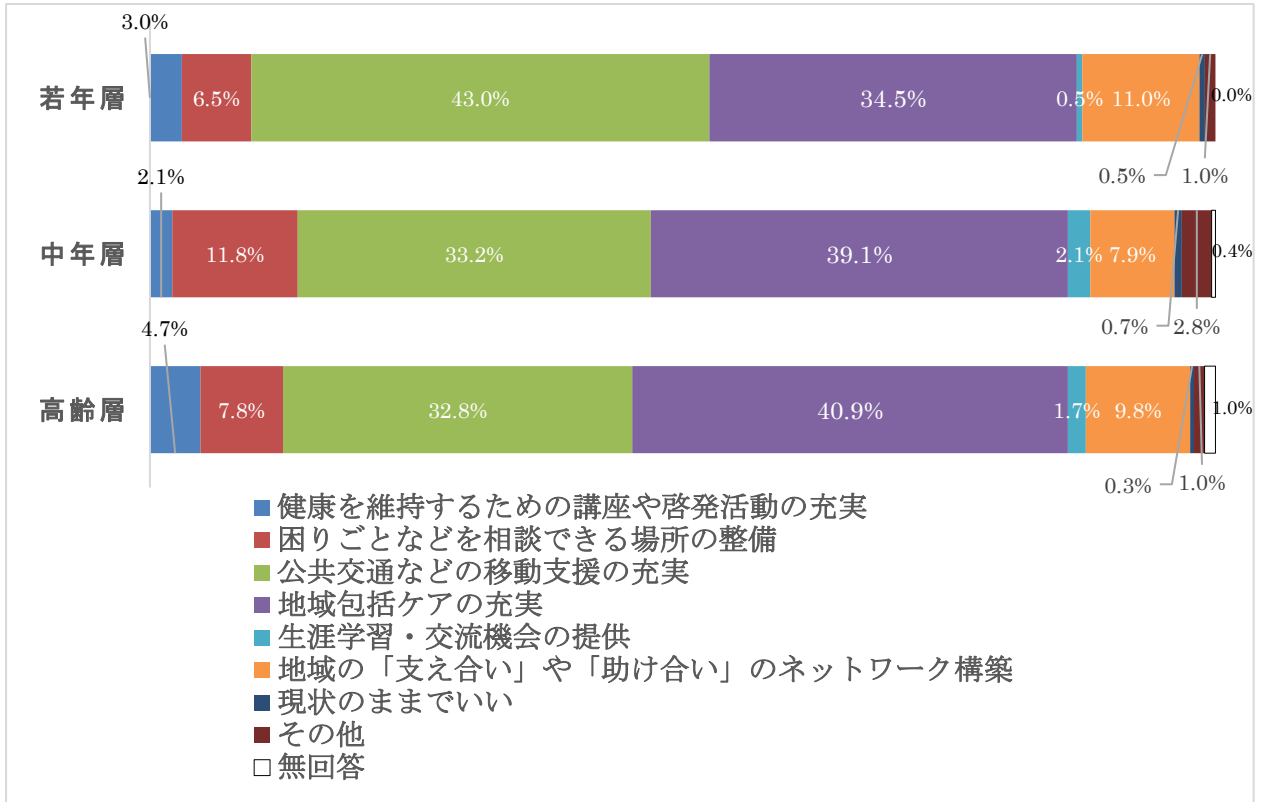
【最重視するもの】①小学校区別

- 小学校区別にみると、鳥飼東小学校区では「公共交通などの移動支援の充実」が46.8%を占め、「地域包括ケアの充実」の30.5%を大きく上回っていることが特徴的である。



【最重視するもの】②年齢階層別

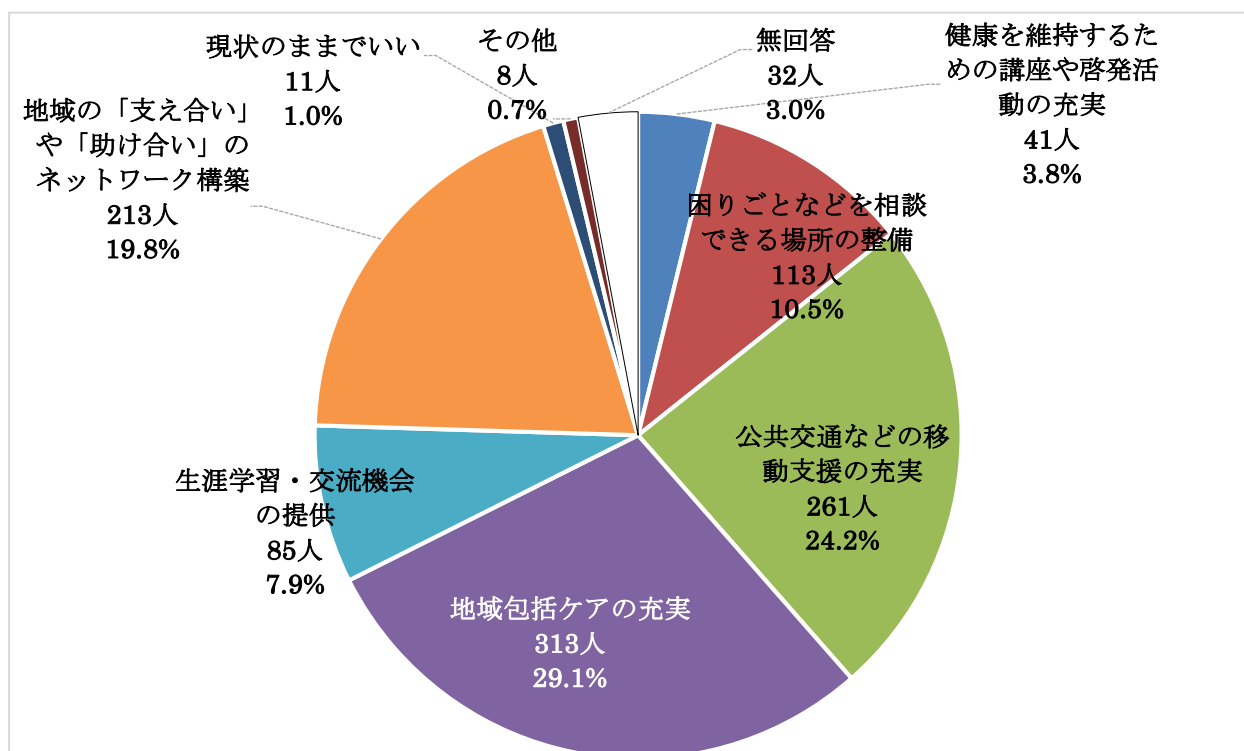
- 年齢階層別にみると、若年層では「公共交通などの移動支援の充実」が43.0%と最も多く、中年層・高齢層では「地域包括ケアの充実」がともに4割近くを占め、最も多くなっている。



【次に重視するもの】（回答者全体）

・次に重視するものでは、「地域包括ケアの充実」（29.1%：313人）、「公共交通などの移動支援の充実」（24.2%：261人）、「地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築」（19.8%：213人）となっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. 健康を維持するための講座や啓発活動の充実	41人	3.8%
2. 困りごとなどを相談できる場所の整備	113人	10.5%
3. 公共交通などの移動支援の充実	261人	24.2%
4. 地域包括ケアの充実	313人	29.1%
5. 生涯学習・交流機会の提供	85人	7.9%
6. 地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築	213人	19.8%
7. 現状のままでいい	11人	1.0%
8. その他	8人	0.7%
無回答等	32人	3.0%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

病院、葬儀場

ご近所の一人暮らしの婦人が倒れられ2～3日誰も気づかない事例があった。近くに家族がいても連絡できない。生活の動きがわかるようなネットワークを構築出来ないでしょうか？

空き家、空き地活用

スーパーなど買い物の便利さ（鳥飼東地区）

高齢者にやさしいI t化

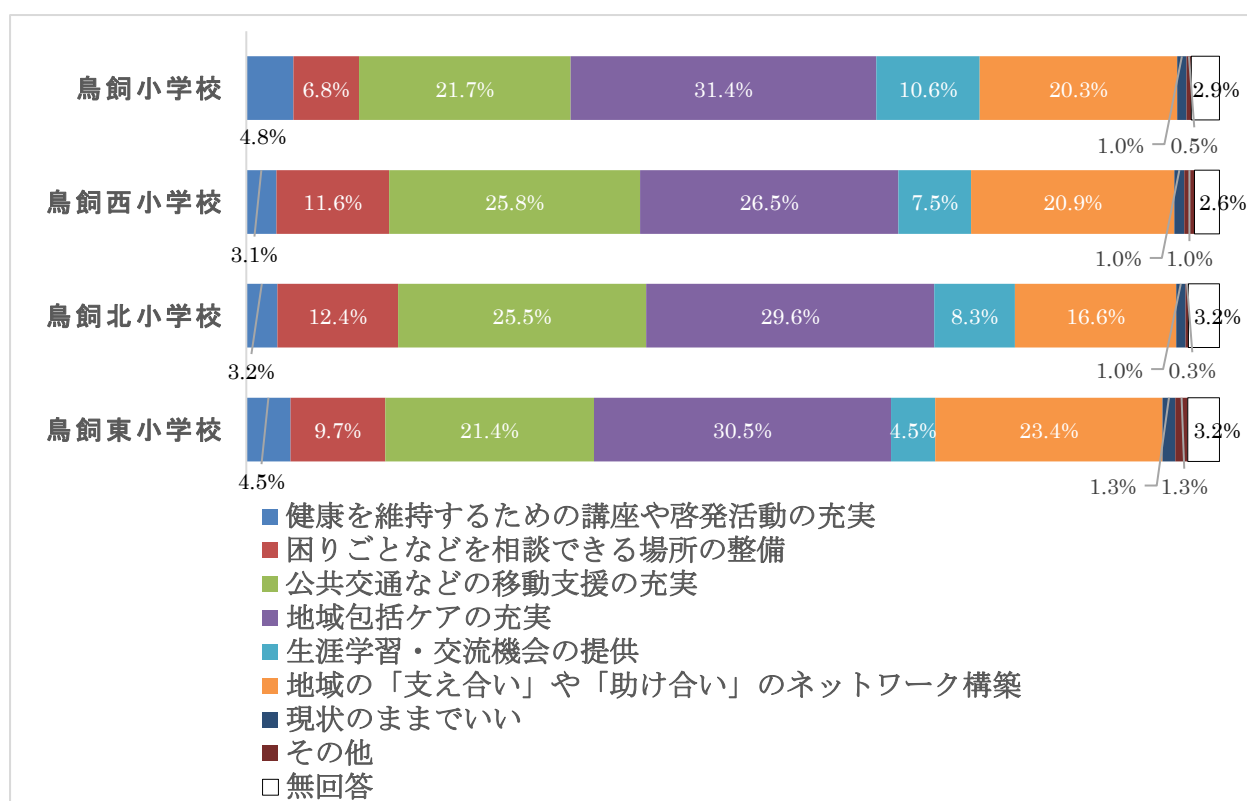
自治会の外注促進（公園の草むしり、夜警など）

高齢者が持つ技術を活かし自分の生活を守るよう活躍させてくれる企業誘致

子世帯等との近居など支え合いやすい様にする

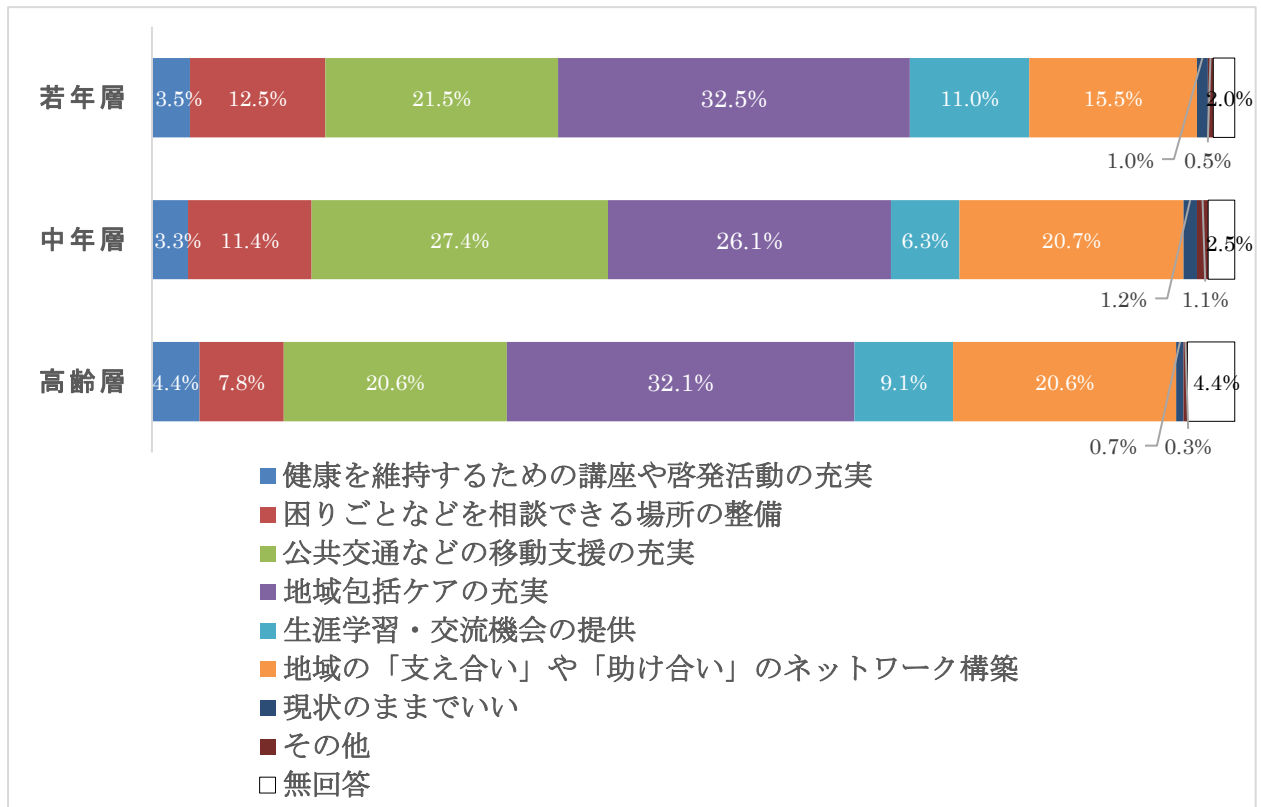
【次に重視するもの】①小学校区別

- 小学校区別にみると、鳥飼小学校区では「困りごとなどを相談できる場所の整備」の比率が6.8%と、他校区と比べて約半分になっている。
- 鳥飼西小学校区では「地域包括ケアの充実」26.5%、「公共交通などの移動支援の充実」25.8%が拮抗している。
- また、鳥飼北小学校区では「地域包括ケアの充実」の29.6%に次いで「公共交通などの移動支援の充実」が25.5%である一方、「地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築」は16.6%と他校区と比べると低くなっている。



【次に重視するもの】②年齢階層別

- 年齢階層別にみると、若年層では、「地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築」が15.5%と中年層・高齢層と比べ低くなっている。
- また、中年層では「公共交通などの移動支援の充実」が27.4%と最も多く、若年層や高齢層とは異なる傾向となっている。

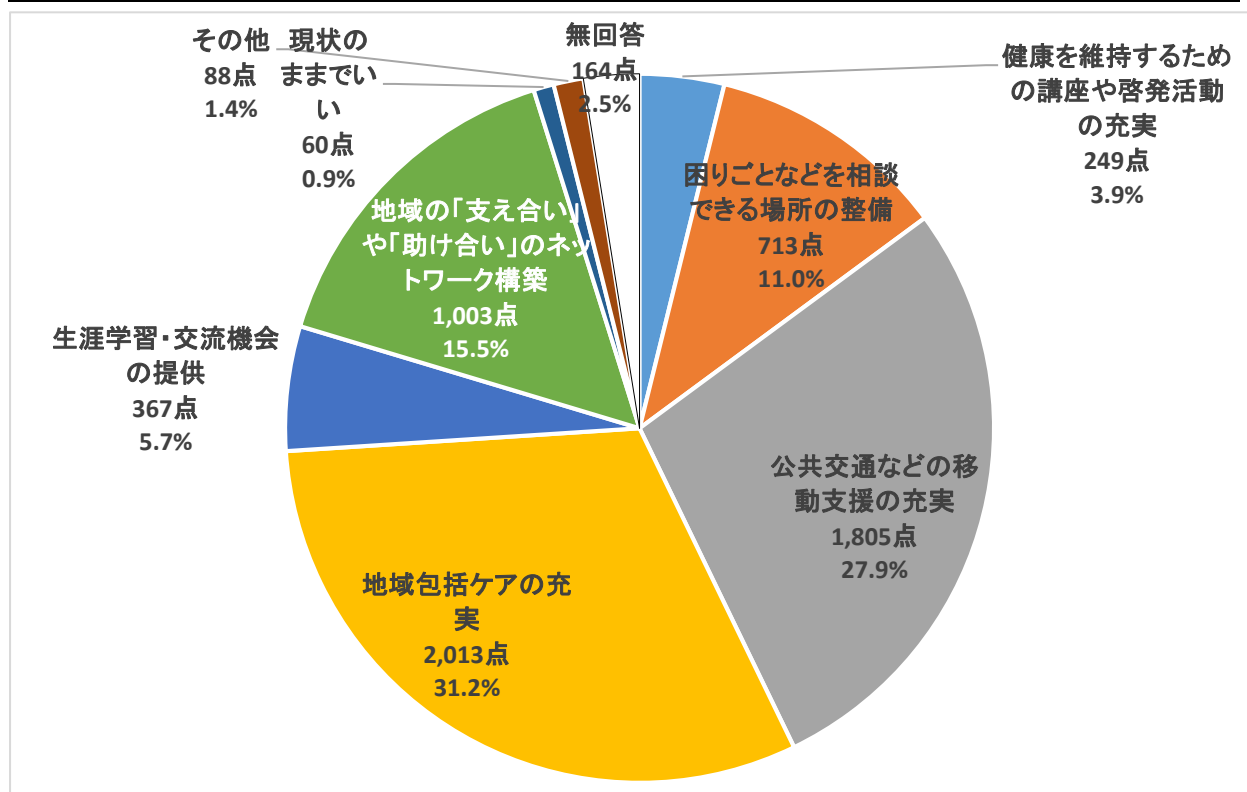


●問2 高齢化について【総合評価】

回答者の方々の総合的なご意向を判断するため、回答の優先度を勘案し、「最重視」に3点、「次に重視」に2点、「三番目に重視」に1点の重みを付けて総合評価値を算定した。

- 「地域包括ケアの充実」が全体の31.2%を占める2,013ポイントと最も多く、次いで「公共交通などの移動支援の充実」1,805ポイント（27.9%）、「地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築」1,003ポイント（15.5%）となっている。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. 健康を維持するための講座や啓発活動の充実	32人	41人	71人	249点 (3.9%)
2. 困りごとなどを相談できる場所の整備	104人	113人	175人	713点 (11.0%)
3. 公共交通などの移動支援の充実	374人	261人	161人	1,805点 (27.9%)
4. 地域包括ケアの充実	417人	313人	136人	2,013点 (31.2%)
5. 生涯学習・交流機会の提供	20人	85人	137人	367点 (5.7%)
6. 地域の「支え合い」や「助け合い」のネットワーク構築	97人	213人	286人	1,003点 (15.5%)
7. 現状のままでいい	6人	11人	20人	60点 (0.9%)
8. その他	21人	8人	9人	88点 (1.4%)
無回答等	6人	32人	82人	164点 (2.5%)
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点 (100.0%)



●問3 少子化について

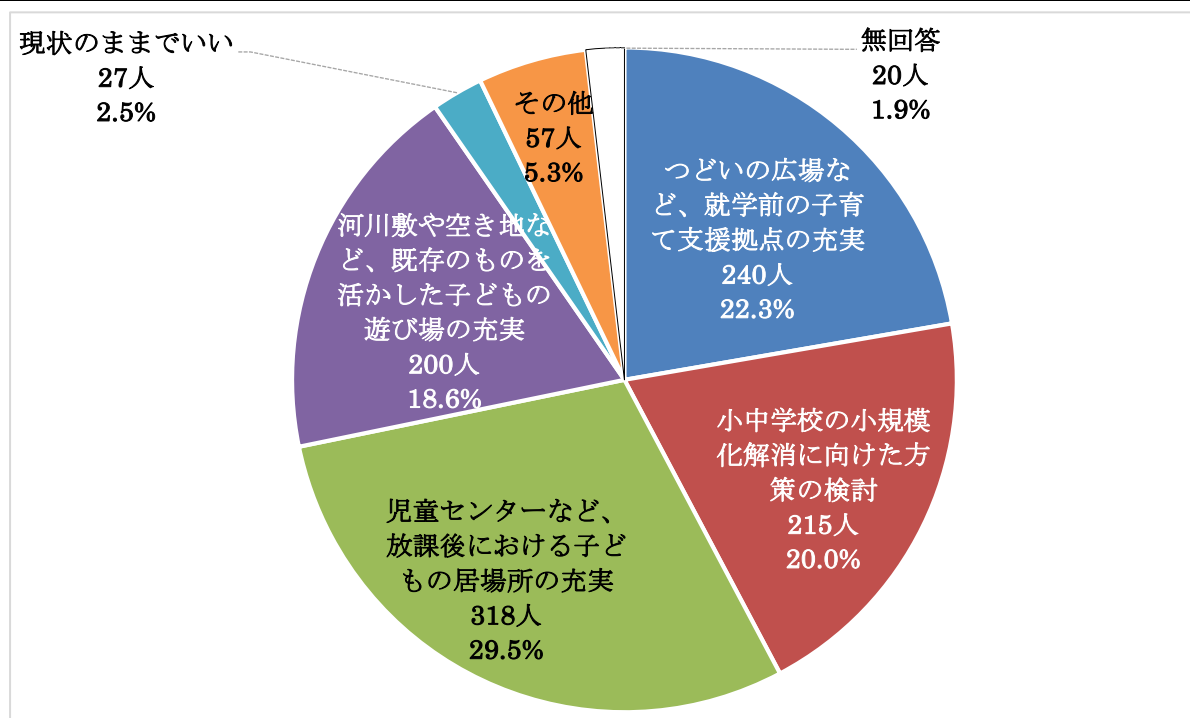
鳥飼地域は、摂津市の中でも特に若い世代の人口減少が進んでおり、現状のままでは子育て支援サービスや教育環境の維持・運営に影響が及ぶと考えられます。

今後の人口減少社会に向けて、次世代の育成に関わる子育て支援や教育環境の維持の視点から特に望ましいと思う取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- 「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」を最重視する方が最も多く29.5%（318人）を占めた。次いで「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」が22.3%（240人）、さらに「小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討」20.0%（215人）、「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」18.6%（200人）と続いている。第2位から第4位までは拮抗した比率である。
- 「その他」の回答数が57人（5.3%）と多くなっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実	240人	22.3%
2. 小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討	215人	20.0%
3. 児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実	318人	29.5%
4. 河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実	200人	18.6%
5. 現状のままでいい	27人	2.5%
6. その他	57人	5.3%
無回答等	20人	1.9%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

問2と同じ

子供ひとりに対し毎月の給付金の額を値上げする

情報の発信

乳幼児の保護者と言わず近場の公園でも暑さ対策、東屋等があると高齢者と親子供、つながりが出来お互いがほっこり出来る気がします

公共交通など移動手段の拡充

学費と保育の無償化（現在3才からなのを0才へ、食費等は？有料ですしわりと高いです

児童の放課後が安心 学習のおくれ ◎義務教育でスルー 教育の充実

学力レベルが大阪府の中でもかなり下の下の摂津市で子どもを育てたいとは思えない。子供を摂津市で育てたいと思えるような教育環境の改善

青少年のスポーツ施設の増設、スポ少、各種スポーツクラブの大会ができる施設

トラックの交通量が多過ぎて大人、子供にとって危険

子育て世代への経済的支援

よくわかりません！

独身者支援並びに子育て負担の軽減対策

4にもつながるが明和池公園の様な明るい公園を作ってほしい。道で遊ぶ子供が多くて危ない。

保育園無償化

実家が鳥飼新町ですが交通買い物等がふべんである。

子育て生活環境の充実

市民プールやテーマパークなど楽しめる場所作り

医療費の無償化

第2子、第3子に特別支援

ファミリー向け賃貸住宅（集合住宅）をつくる

ティーンの治安改善

摂津市で子育てしたい（子どもを産みたい）と思う環境作り。産院がない選べない。病院が少ない。公園が少ない。ちびっ子広場もあるが遊具が3才以上など乳幼児が遊べる場所がない。他都市で産む人が多いのに摂津市との連携がないように思う

特もかくも子供が増えないとね！

学力向上に向けた学習活動の充実

もっと充実した図書館が必要。本を読まない子供が多いのは1つの理由に魅力的で行きたくなる図書館が皆無。他県の視察に行ってほしいくらいです。（今はコロナだから調査するとか・・・）予算よりも工夫次第！

若い世代への金額支援

可能な限りの金銭的支援

街づくりが先（都市計画）

教育レベルの向上

人口減少を防ぐ方策も考えては？若い世代が住みやすい市を目指しては？1

子育て世代がその地域に住みたい、住める街づくり

きれいな遊び場。公園の砂場にウジ虫が湧いています！小さな子があそべません。中学生のたまり場になっています

子育て世帯への手厚い支援

子供がいてないのでわかりません

一時保育、病児保育、ファミリーサポートの充実。現状少なすぎる

子育て世帯への資金援助など子供を生みたくなる環境作り

小中学校の特進クラス設置

高度なITの活用、学校という場の活用

学力向上対策

外で遊べる場所をもっと作る

近隣市との合併。行政、公共サービスの高率化、コスト削減

都市計画等の住環境の整備—住宅と倉庫、工場を分ける 通勤手段を増やす。親が安定的に住める環境を維持する事が子育て支援や教育環境の維持につながると考えます

地域内学区の学力向上、教育の充実

教育系の大学の誘致とその大学と小中の密な連携での授業

現状がわからないのでわからない

子供産んでも近くの保育園に預けられないとか、保育料高いとかもっと少子化対策しなあかん所たくさんある

子育ての為の補助金の支援

誰もがこの市で子どもたちを学ばせたいと思うような教育システムの構築（外部からの子育て世代を集める為）

働く夫婦への手助け支援の充実

保育所や託児所の増設など共働き家庭への子育て支援

駅を作る（阪急 or JR）

子供にかかる費用を少なくしてほしい

学力を上げる取り組み

義務教育終了までの公的資金援助

低価格のファミリー向け賃貸住宅やマンションなどの住居の提供。公共交通の充実

通勤・通学などの他地域移動の時間短縮、若い世代から居住選択地になること

【最重視するもの】①小学校区別

・小学校区ごとに特徴が分かれた。

＜鳥飼小学校区＞

「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が29.0%と最も多く、次いで「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」が24.2%となっている。

＜鳥飼西小学校区＞

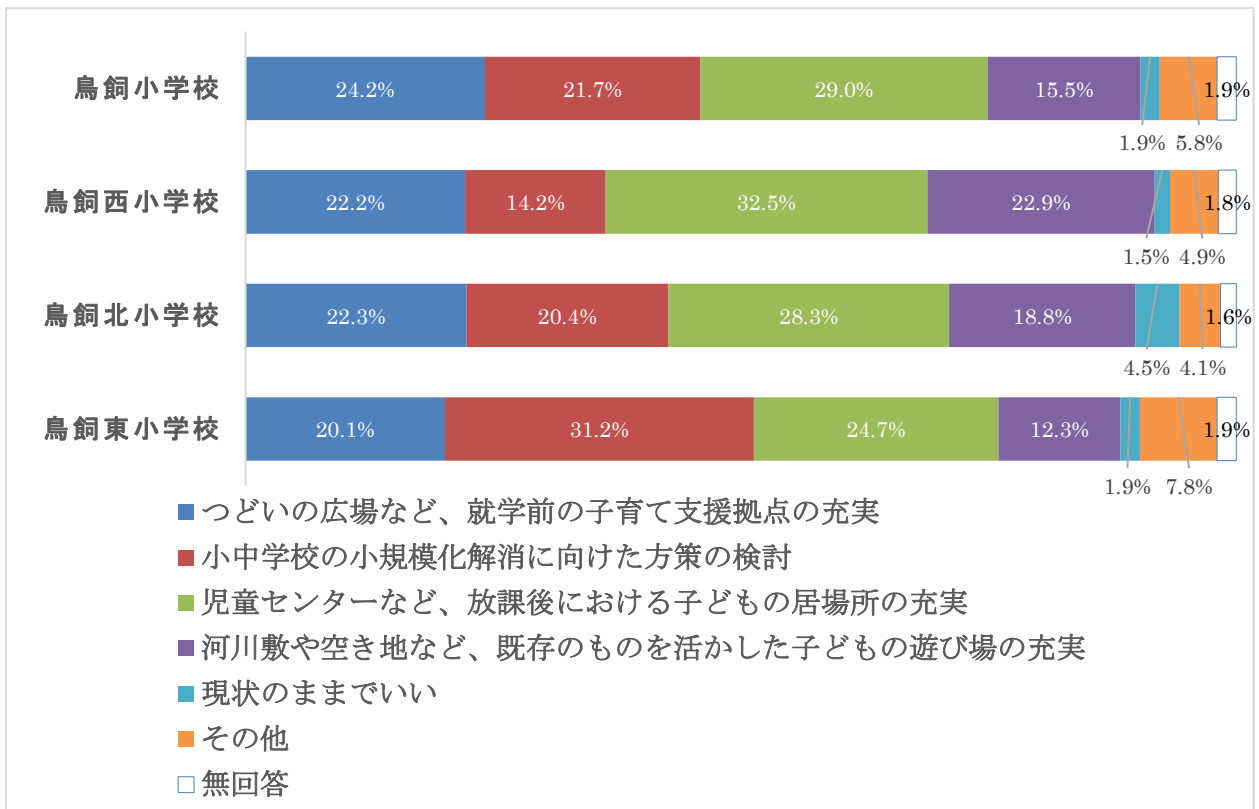
「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が32.5%と最も多く、さらに「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」が22.9%と2番目になっている。「小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討」が14.2%と他の校区に比べると低くなっている。

＜鳥飼北小学校区＞

「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が28.3%と最も多く、全体の傾向とほぼ同様である。

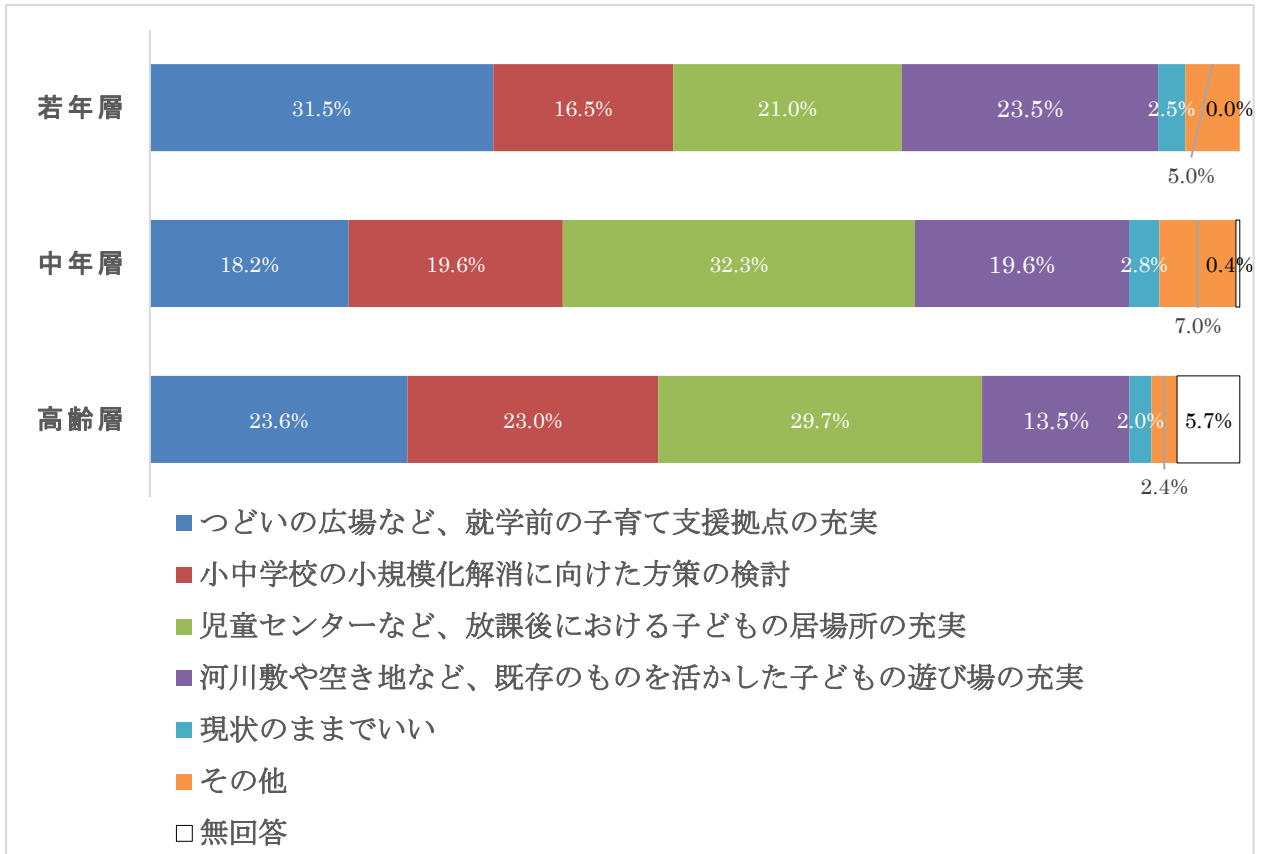
＜鳥飼東小学校区＞

「小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討」が31.2%と最も多くなっている。



【最重視するもの】②年齢階層別

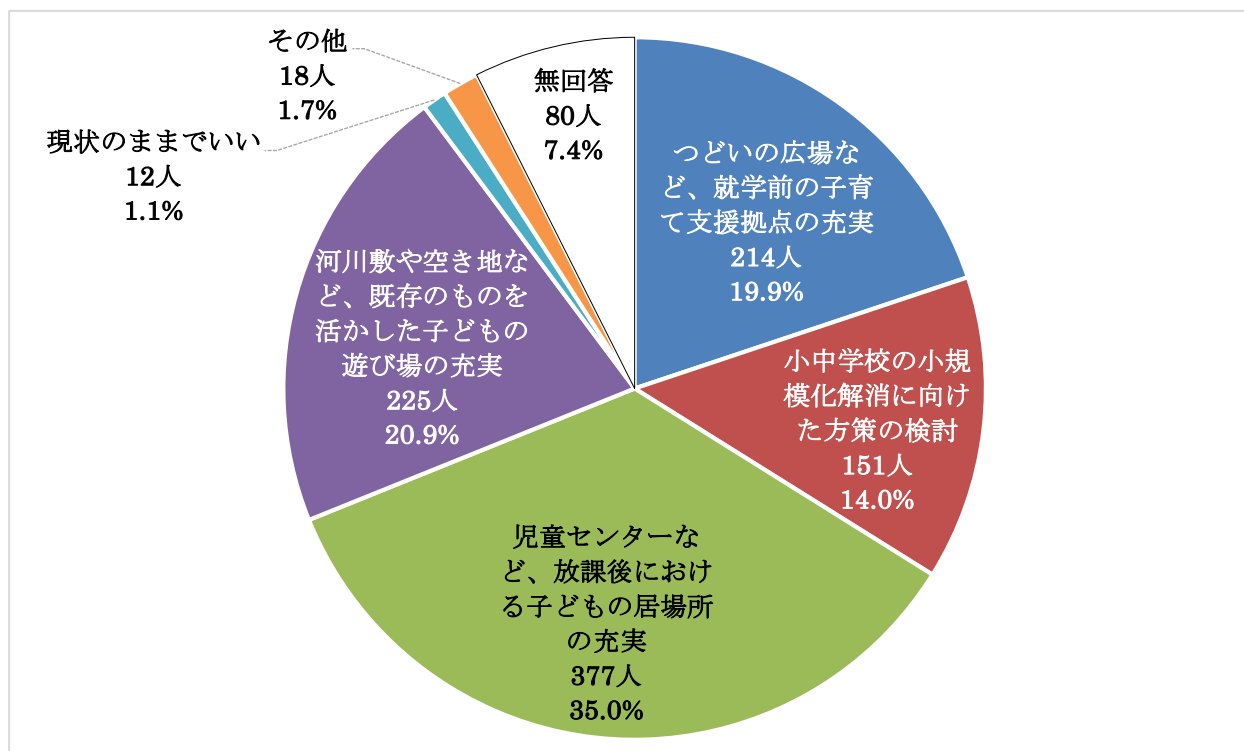
- 年齢階層別にみると、若年層では「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」が31.5%と最も多く、中年層・高齢層では「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」がともに3割前後を占め、最も多くなっている。
- また、高齢層では「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」の比率は13.5%と、他の年齢階層と比べて低くなっている。



【次に重視するもの】（回答者全体）

- 次に重視するものについても「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が 35.0%（377人）を占め最も多かった。「最重視」及び「次に重視」を合すると 64.5%の人が必要性の上位に挙げている。
- 次に「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」が 20.9%（225人）、さらに「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」が 19.9%（214人）と続いている。

選択項目	回答実数	構成比
1. つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実	214人	19.9%
2. 小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討	151人	14.0%
3. 児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実	377人	35.0%
4. 河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実	225人	20.9%
5. 現状のままでいい	12人	1.1%
6. その他	18人	1.7%
無回答等	80人	7.4%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

目玉製米？を作って全国にPR、支援金等

子育て世代が住みやすい環境を作る（仕事に行くための交通の便の良さ、子育てのしやすさ）+市内外へのアピール力

少額でも市独自の支援金や図書カードや摂津市だけで使用できるお買い物券など

通学路など安心して通れる道や環境整備

勉強レベルの低さ

学力をつけさせる

若い世代が住みたいと思える環境が整っていない。当然少子化になる。教育レベルも低い。地域は工場などが多く気持ちよく散歩できるような所でもない

安心して通学できる歩道の確保、ガードレール、防犯カメラ、信号等

児童相談場の窓口増加

新幹線の公園をもっと楽しめるといい。桜の時期のイベントなど

工場ばかりなのでマンションなり集合住宅なり建てないと少子化がどんどん進む。

保育所の受け入れ増やしてほしい

遊び場もですが若い親が集まりそうなショッピングモールなど

高齢者と子供又は就学前の親子とのつながりを持つ

子育て多兄弟手当等

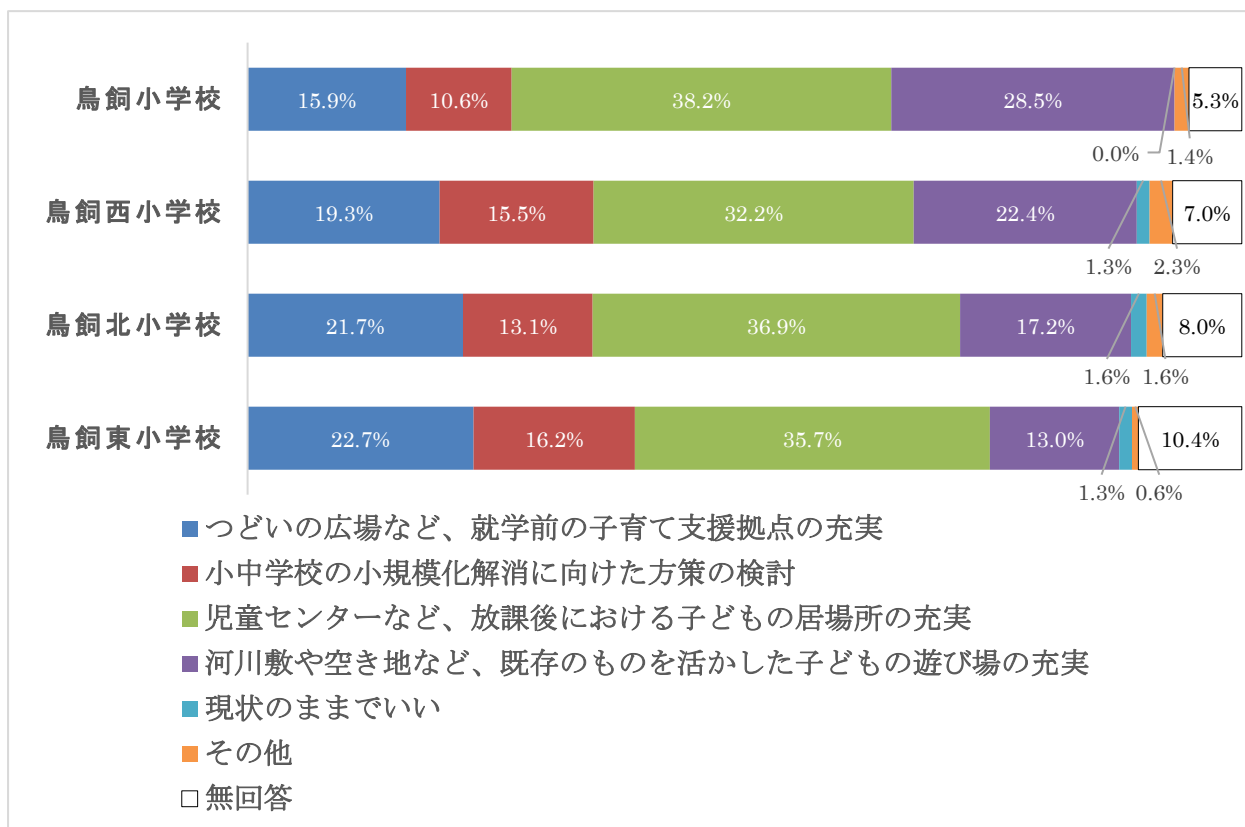
保育園の拡充、新設

地域きたない、きれいにした方がいい。暗い。歩道がない。なさ過ぎるので確保した方がいい

未記入 1件

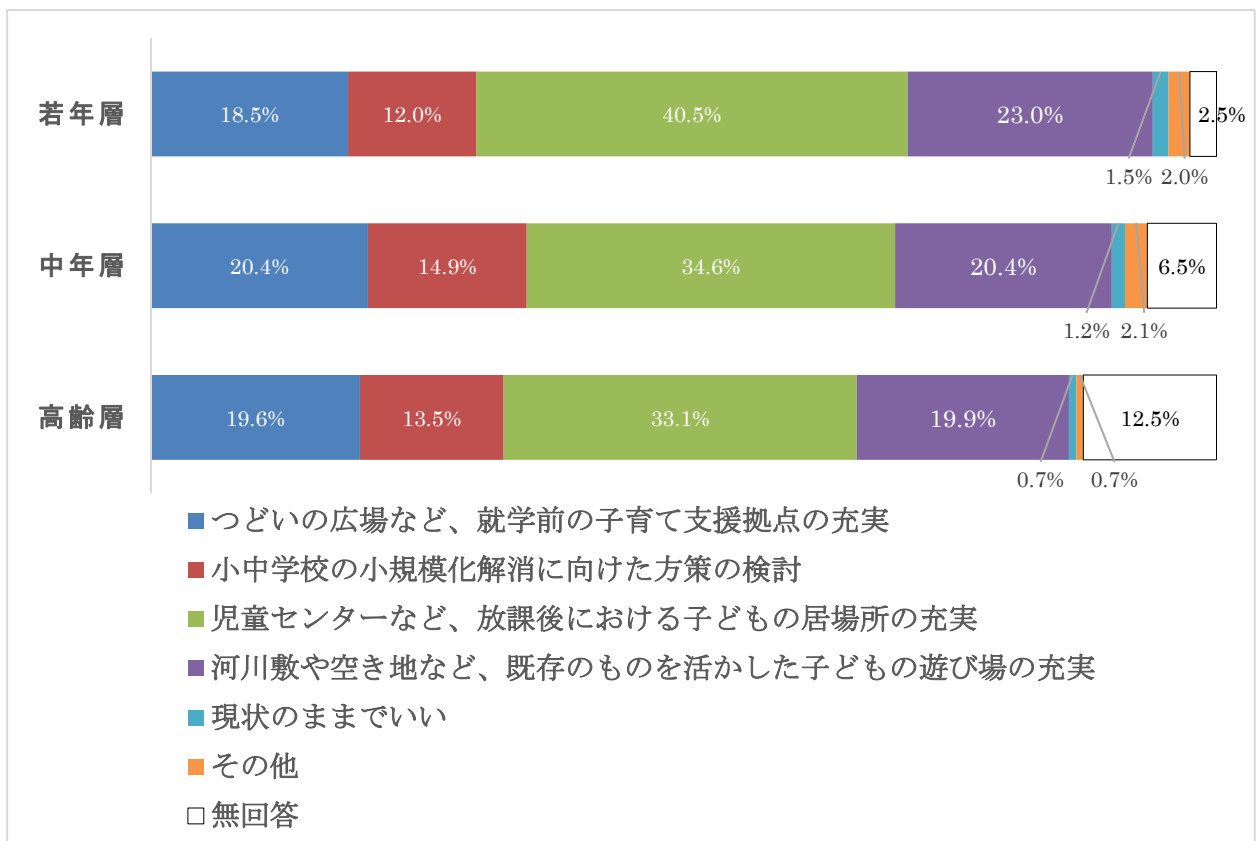
【次に重視するもの】①小学校区別

- いずれの校区でも「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が32～38%を占め最も多い。
- 鳥飼小学校区及び鳥飼西小学校区では「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」が28.5%、22.4%と2番目に多くなっている。



【次に重視するもの】②年齢階層別

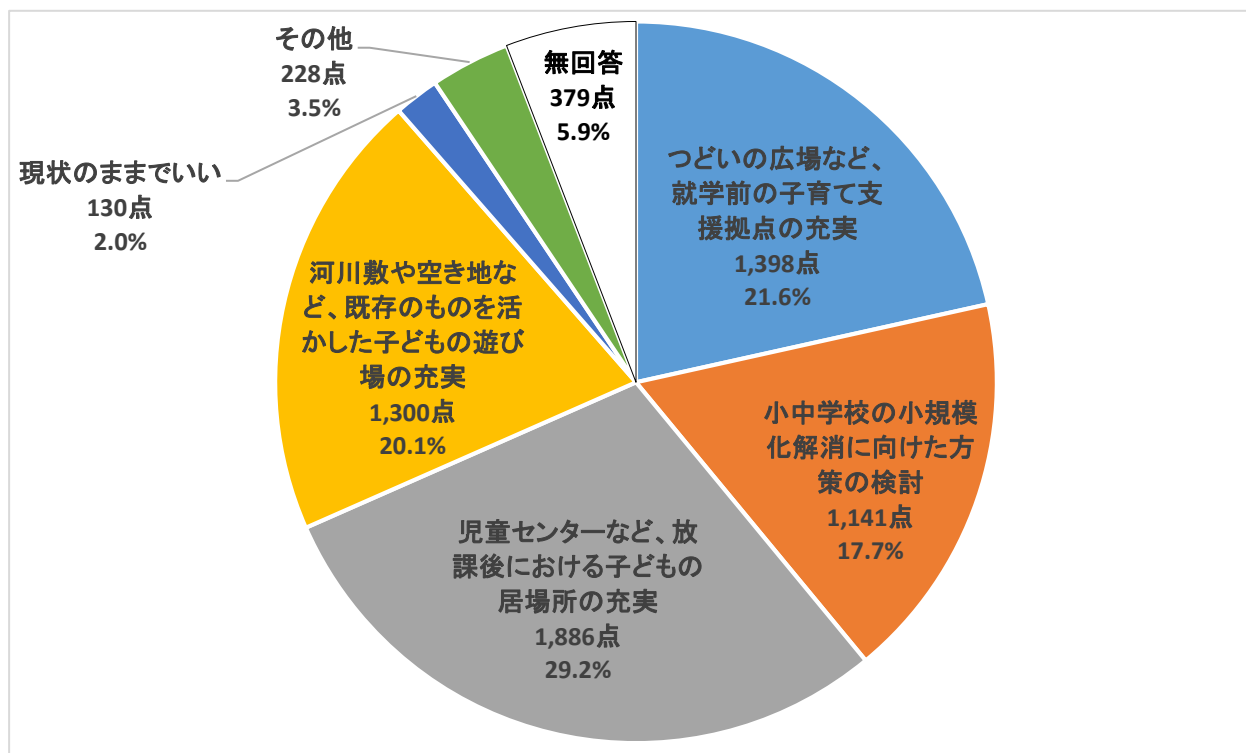
- 若年層では「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が40.5%と最も多く、次いで「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」が23.0%となっている。
- 中年層でも「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が34.6%と最も多く、次いで「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」と「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」（20.4%）が同率となっている。
- 高齢層でも「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が33.1%と最も多く、次いで「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」が19.9%となっている。



●問3 少子化について【総合評価】

- 「児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実」が全体の29.2%となる1,886ポイントと最も多く、次いで「つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実」21.6%（1,398ポイント）「河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実」20.1%（1,300ポイント）となっている。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. つどいの広場など、就学前の子育て支援拠点の充実	240人	214人	250人	1,398点 (21.6%)
2. 小中学校の小規模化解消に向けた方策の検討	215人	151人	194人	1,141点 (17.7%)
3. 児童センターなど、放課後における子どもの居場所の充実	318人	377人	178人	1,886点 (29.2%)
4. 河川敷や空き地など、既存のものを活かした子どもの遊び場の充実	200人	225人	250人	1,300点 (20.1%)
5. 現状のままでいい	27人	12人	25人	130点 (2.0%)
6. その他	57人	18人	21人	228点 (3.5%)
無回答等	20人	80人	159人	379点 (5.9%)
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点 (100.0%)



●問4 公共交通について

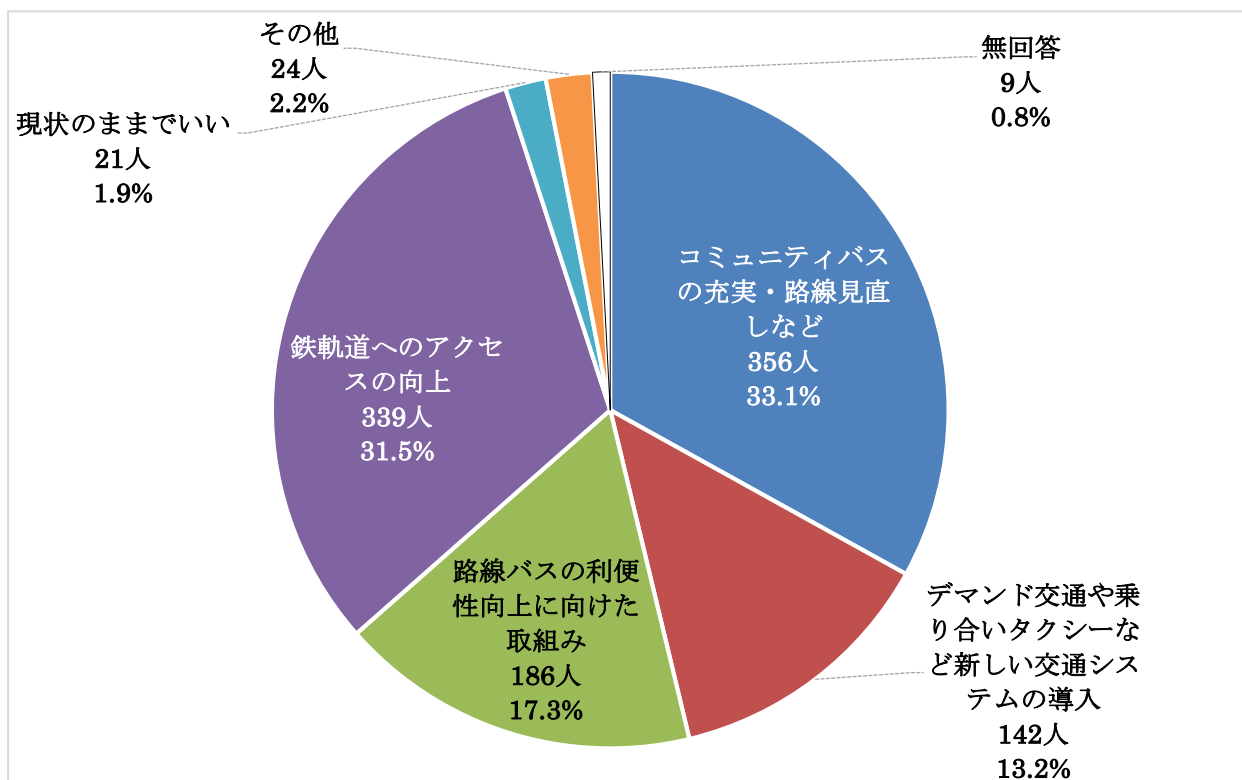
鉄軌道やバスなどの公共交通がありますが、人口の減少によって公共交通の便の縮小や路線の廃止など、公共交通の利便性に影響が出るおそれがあります。

今後の高齢化の進行や人口減少社会に向けて、公共交通の再編の視点から、特に望ましいと思う取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- ・「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」が33.1%（356人）で最も多く、次いで「鉄軌道へのアクセスの向上」が31.5%（339人）と拮抗している。この2選択肢で回答実数の約2/3を占める。
- ・次に続くのが「路線バスの利便性向上に向けた取組み」の17.3%（186人）となっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. コミュニティバスの充実・路線見直しなど	356人	33.1%
2. デマンド交通や乗り合いタクシーなど新しい交通システムの導入	142人	13.2%
3. 路線バスの利便性向上に向けた取組み	186人	17.3%
4. 鉄軌道へのアクセスの向上	339人	31.5%
5. 現状のままでいい	21人	1.9%
6. その他	24人	2.2%
無回答等	9人	0.8%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

大型スーパーに出迎え巡回バスの設置

情報の発信 シャトルバス企業に入ってもらい みんなしらないのでゼッパイ号乗ったことない

大阪市内など中心部へ行くための交通手段の充実

大阪モノレールの運賃の高さが一番の問題。大阪モノレールと話し合いをして安くさせるか路線バスを大日まで行けるようにする

子供や高齢者が歩きやすい歩道や車の通行整備（通学路の危険場所等）

モノレールの低運賃化

鳥飼地域に駅を増やす

J R 貨物線の一般利用

新幹線駅の新設による利便性向上

高齢者の免許返納などの促進を考えると公共交通機関の充実か高齢者のタクシー利用の充実化

乗りかえなしで市内（梅田）に行けるよう地下鉄などの延長

路面電車でアクセス向上を図る（鳥飼⇄モノレール？） or モノレール延線（南摂津⇄高槻）

摂津市民専用の100円で普通のバスでもよりの駅まで行けるパスをつくる

阪急南茨木までの路線バスがほしい

有料でもコーナン等買い物しやすい場所と住宅地との間をつなぐバス

地下鉄谷町線か今里筋線を鳥飼まで延伸せよ！

大阪メトロ延伸計画

65才以上路線バス無料

モノレールを鳥飼方面にのばす

新幹線鳥飼基地駅

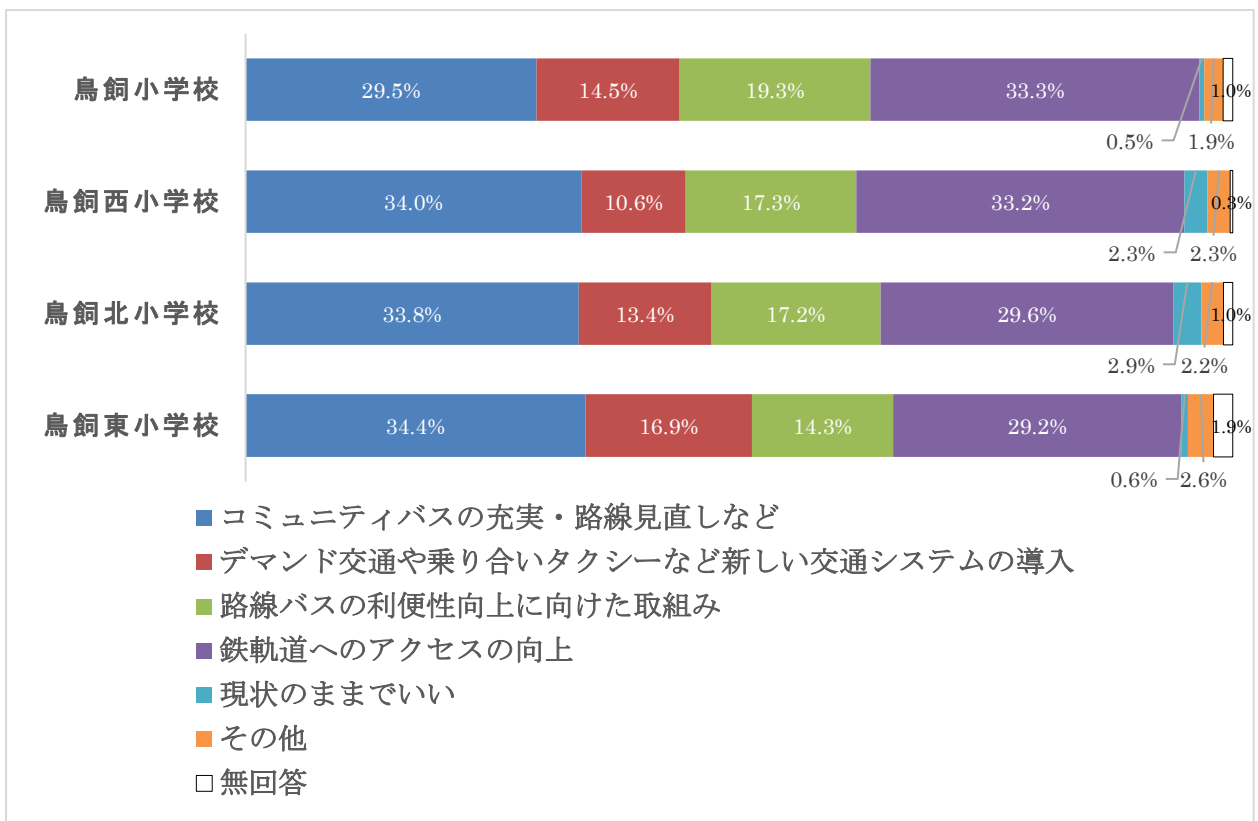
モノレール、鉄道、地下鉄の駅を作る

バス以外の交通手段、鉄軌道

未記入 2件

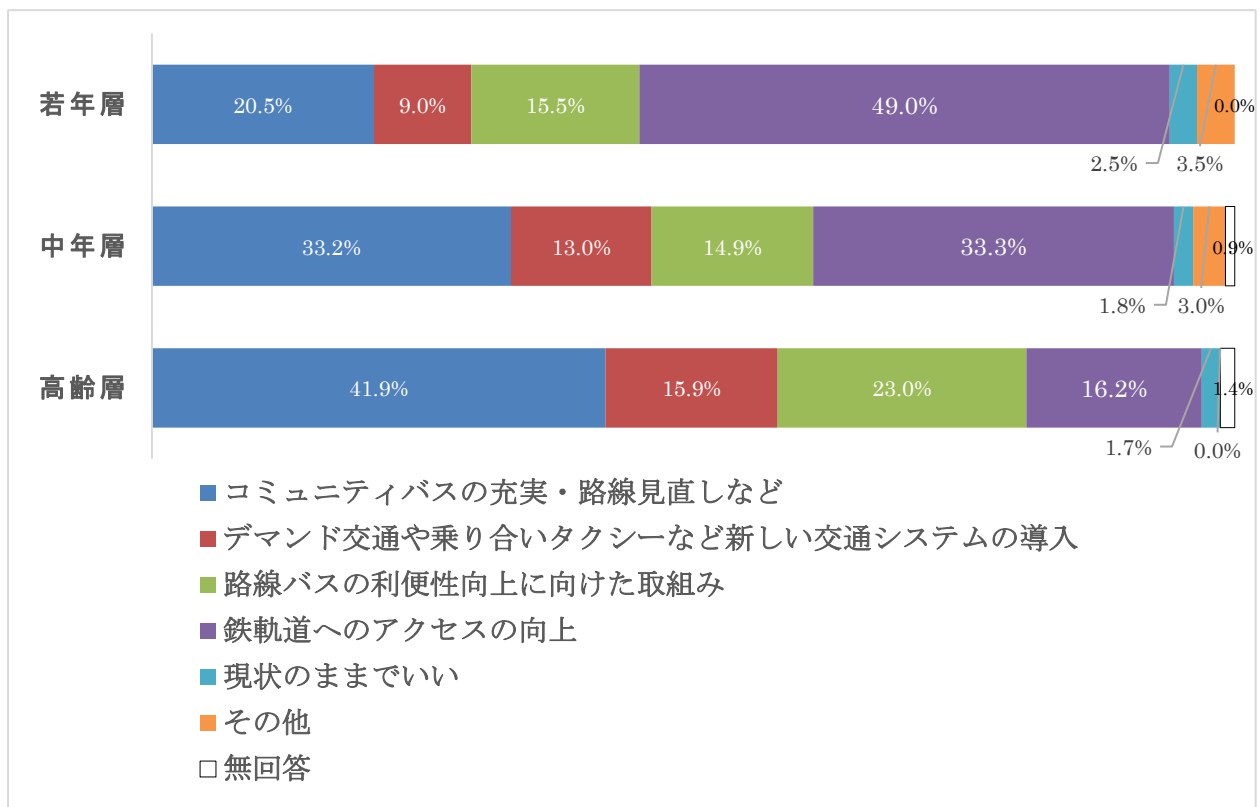
【最重視するもの】①小学校区別

- 小学校区別にみると、鳥飼小学校区では「鉄軌道へのアクセスの向上」が最も多く 33.3%となっている。
- 鳥飼小学校区を除く3つの校区では「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」が最も多く、いずれも30%を超えている。
- 上記のような細部の違いはあるものの、どの校区も「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」と「鉄軌道へのアクセスの向上」が拮抗しつつ、この2つの選択肢で60%以上を占めている。



【最重視するもの】②年齢階層別

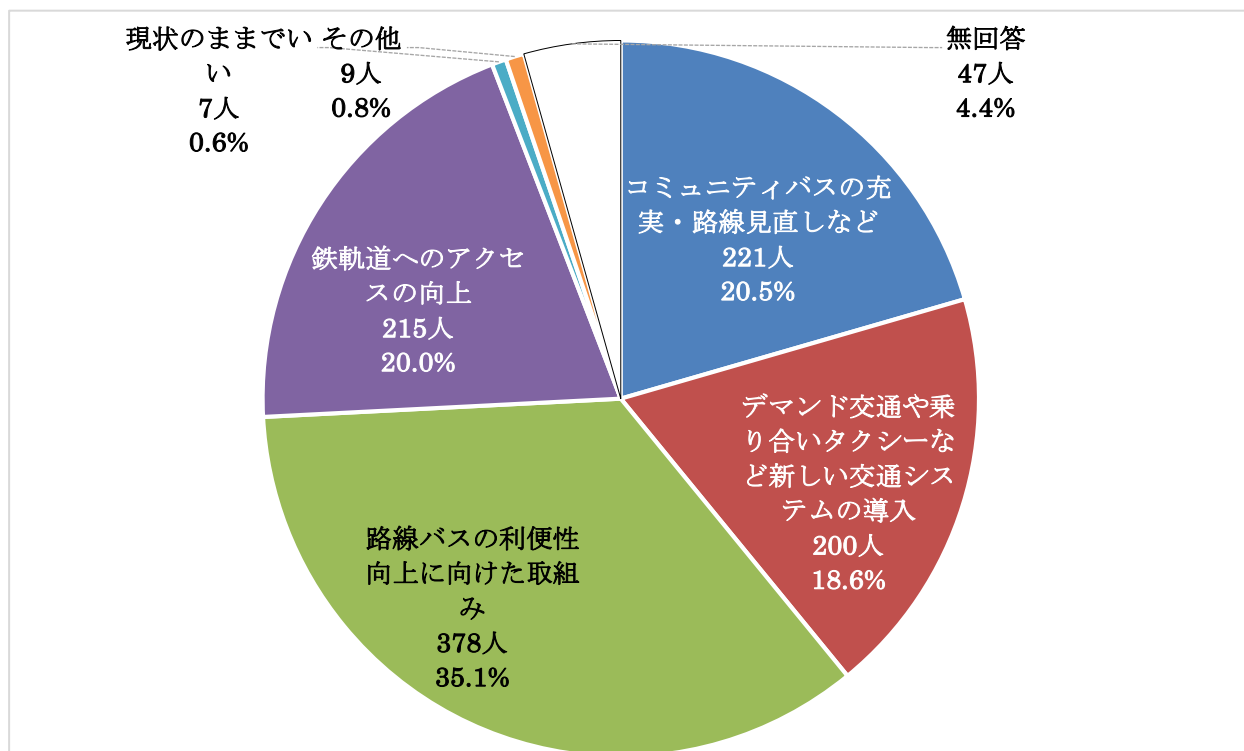
- 年齢階層別にみると、若年層では「鉄軌道へのアクセスの向上」が最も多く49.0%となっている。一方、高齢層では「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」が41.9%と最も多くなっている。
- 年齢階層が上がるほど「鉄軌道へのアクセスの向上」への要請から「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」への要請へと移っている。
- これは、市外への通勤者が多い若年層と市内及び周辺都市での各種生活サービスの享受を目的とする高齢層との生活パターンの違いが表れているものと考えられる。



【次に重視するもの】（回答者全体）

- ・「路線バスの利便性向上に向けた取組み」が 35.1%（378 人）で最も多くなっている。
- ・次いで「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」20.5%（221 人）、「鉄軌道へのアクセスの向上」20.0%（215 人）、「デマンド交通や乗り合いタクシーなど新しい交通システムの導入」18.6%（200 人）がいずれも 20%程度の割合で続いている。

選択項目	回答実数	構成比
1. コミュニティバスの充実・路線見直しなど	221 人	20.5%
2. デマンド交通や乗り合いタクシーなど新しい交通システムの導入	200 人	18.6%
3. 路線バスの利便性向上に向けた取組み	378 人	35.1%
4. 鉄軌道へのアクセスの向上	215 人	20.0%
5. 現状のままでいい	7 人	0.6%
6. その他	9 人	0.8%
無回答等	47 人	4.4%
総計	1,077 人	100.0%



【その他の内容】

朝の通勤時に駅に向かう路線バスが時刻表通り着く取組み（バス専用優先車線等）

タクシーがなかなか自宅まで来てくれない

地下鉄 井高野→高槻

道路渋滞の解消をしないと路線バスの利用に結びつかない

地下鉄の導入

井高野から地下鉄延伸 終点桂本団地

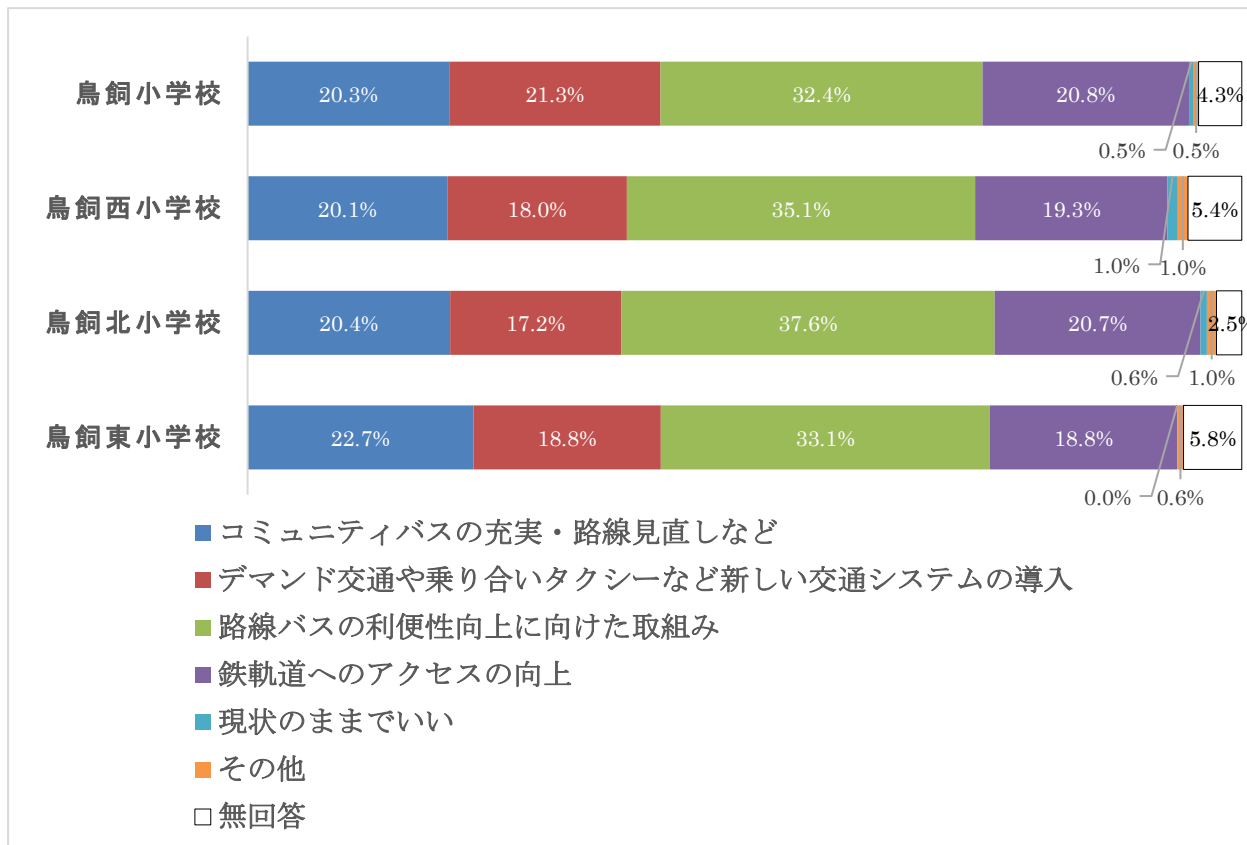
摂津の東側に何かしらの駅があること

最寄りのスーパー、病院等への循環バスの運行

未記入 1件

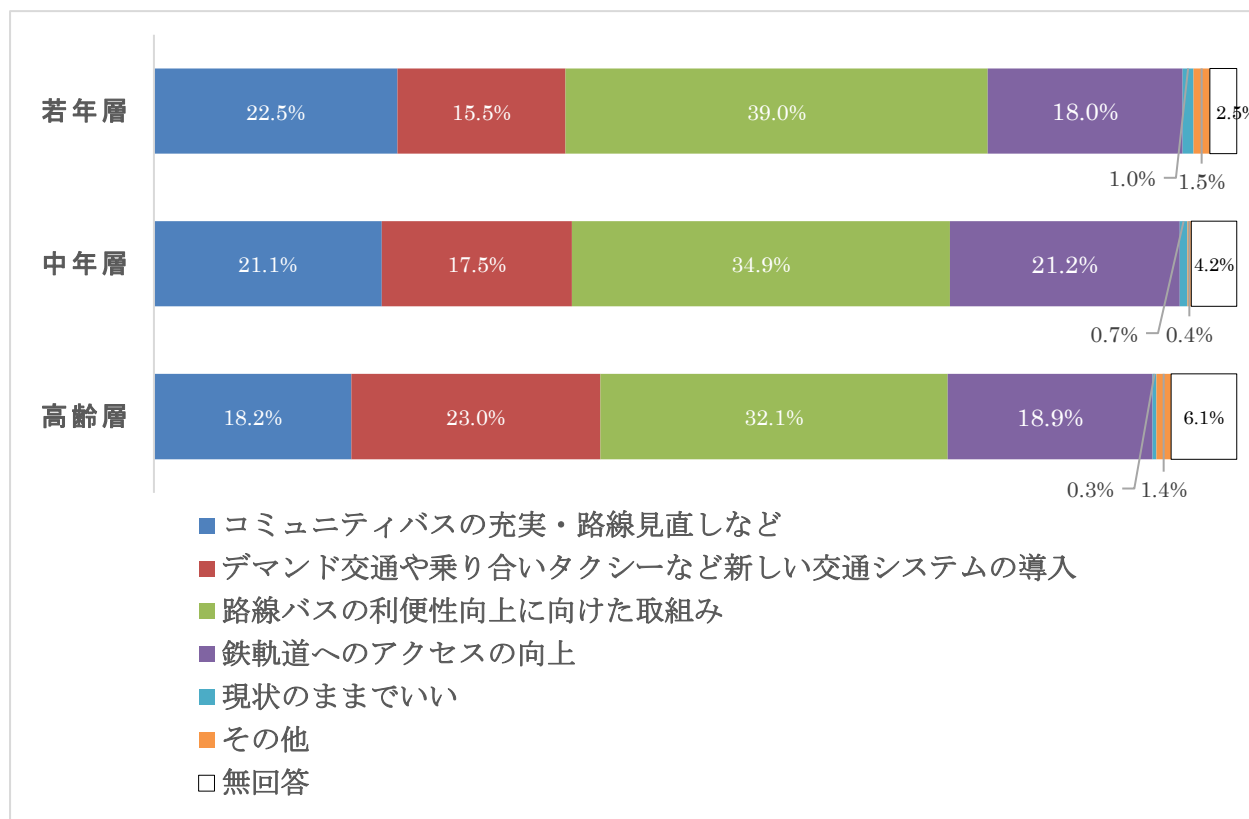
【次に重視するもの】①小学校区別

- いずれの校区においても「路線バスの利便性向上に向けた取り組み」が最も多く、いずれも32～38%を占めている。
- 校区による傾向の顕著な差はみられない。



【次に重視するもの】②年齢階層別

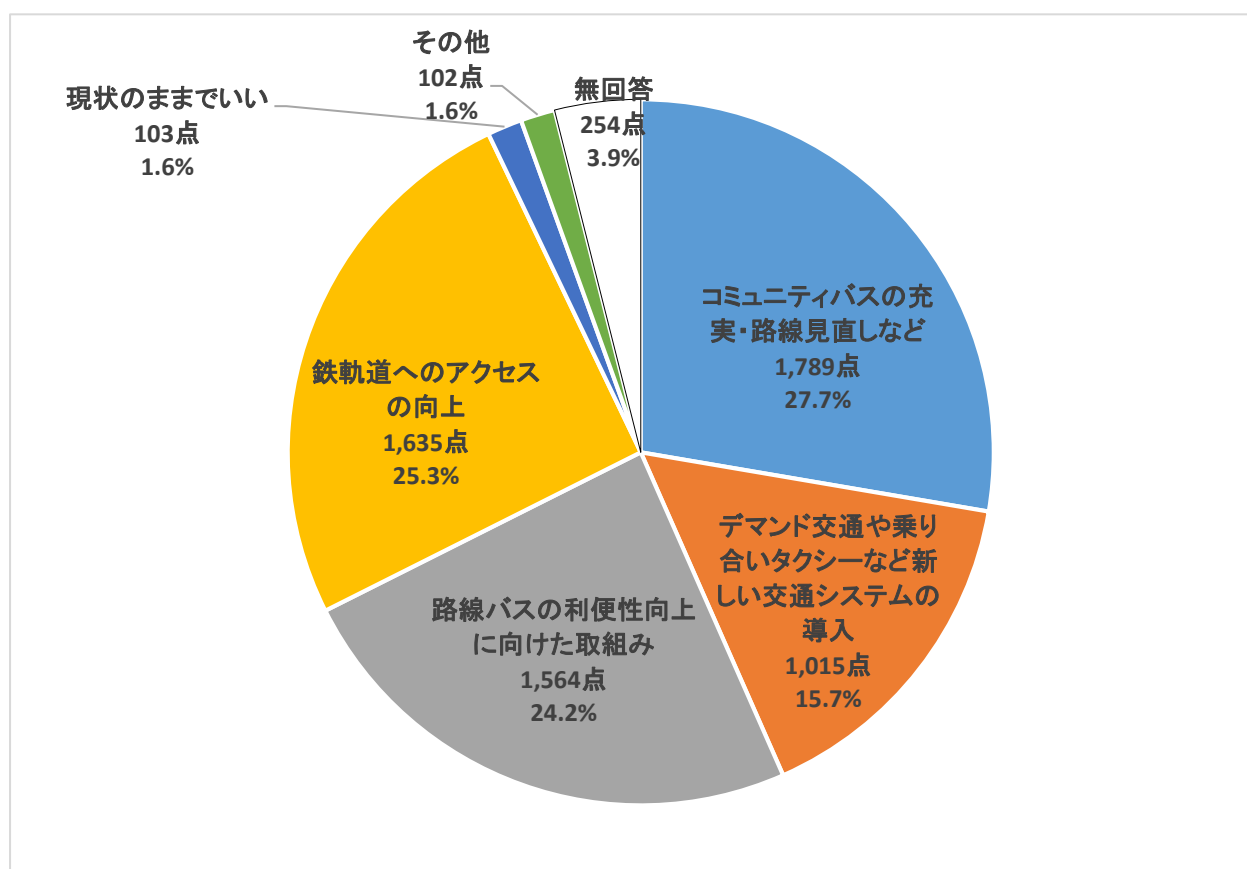
- いずれの年齢階層においても「路線バスの利便性向上に向けた取り組み」が最も多く、いずれも32～39%を占めている。
- 年齢階層による傾向の顕著な差はみられない。



●問4 公共交通について【総合評価】

- ・「コミュニティバスの充実・路線見直しなど」が全体の27.7%となる1,789ポイント、次いで「鉄軌道へのアクセスの向上」が25.3%（1,635ポイント）、「路線バスの利便性向上に向けた取組み」24.2%（1,564ポイント）となっており、この3つの間に大きな差はない。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. コミュニティバスの充実・路線見直しなど	356人	221人	279人	1,789点（27.7%）
2. デマンド交通や乗り合いタクシーなど新しい交通システムの導入	142人	200人	189人	1,015点（15.7%）
3. 路線バスの利便性向上に向けた取組み	186人	378人	250人	1,564点（24.2%）
4. 鉄軌道へのアクセスの向上	339人	215人	188人	1,635点（25.3%）
5. 現状のままでいい	21人	7人	26人	103点（1.6%）
6. その他	24人	9人	12人	102点（1.6%）
無回答等	9人	47人	133人	254点（3.9%）
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点（100.0%）



●問5 コミュニティについて

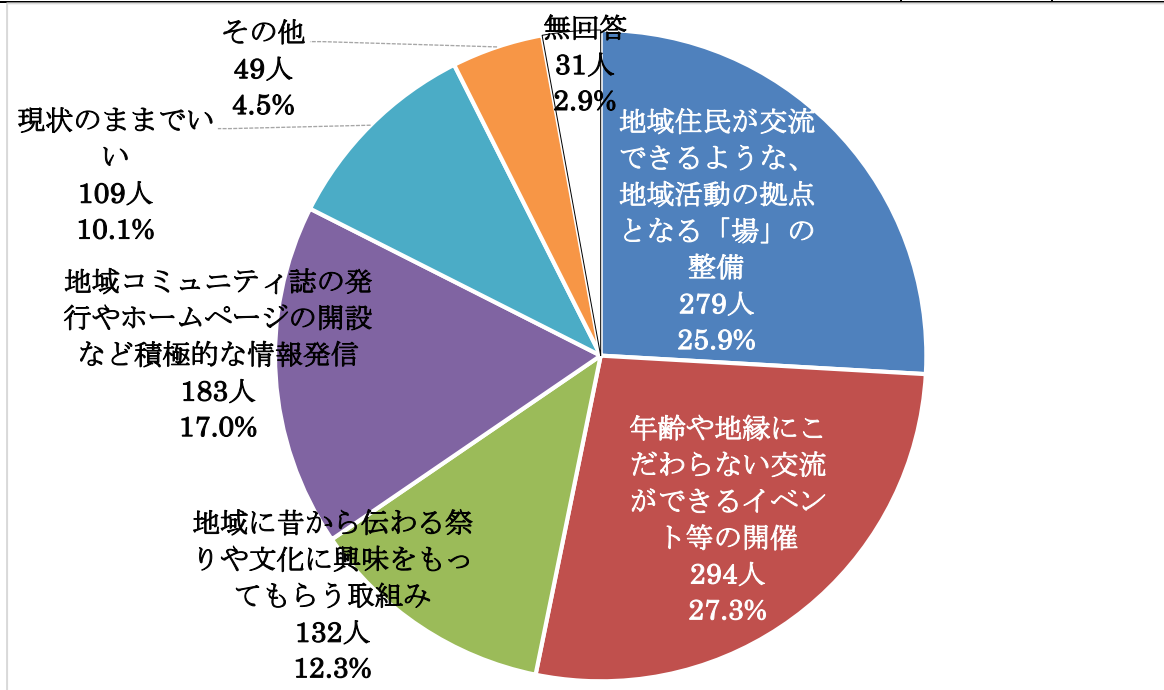
地域住民の親睦や防犯・防災活動などの場として自治会が組織されていますが、近年の自治会加入率は減少しています。地域の結びつきが弱くなることで、結果的に地域活力や防災力の低下、治安の悪化に繋がるおそれがあります。

地域の結びつきの視点から、今後特に望ましいと思う取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- ・「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」が27.3%（294人）で最も多く、次いで「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」の25.9%（279人）であった。
- ・以下「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」の17.0%（183人）、「地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み」の12.3%（132人）と続く。

選択項目	回答実数	構成比
1. 地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備	279人	25.9%
2. 年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催	294人	27.3%
3. 地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み	132人	12.3%
4. 地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信	183人	17.0%
5. 現状のままでいい	109人	10.1%
6. その他	49人	4.5%
無回答等	31人	2.9%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】①

自治会加入のメリットがなし 見直し必要

広い公園等無料でつどえる場所を作る

自治会のイベントが多すぎて大変なので何かほかの方法があればいいのに

摂津市のSNSの活用希望

自治会のあり方（昔のままじゃなく）若い人の意見も取り入れ活動しやすく魅力ある地域になると若い後継者が生まれるのでは

高齢化の為、自治体、町会もなく役割の負担が大きく??より少ない!!・藤森神社の為の夜の会合
市民体育祭の当番（地元の人間の飲み食いに会費を払う）（無職や体調不良で分別当番も早く回ったり古い地区で少子化のため難問も多い）

自治会離れがおきている原因をまずは知ることでは？

昔からの地元民が新しく入ってきた人への歓迎の姿勢

自治会内の高齢者が威張り、牛耳っており人の意見を全く聞かないので、一度解散し再編するぐらいの思い切った改革が必要

自治会加入時のメリットの充実？

共働き家庭も多くなっている今、自治会の集まりなどの半強制参加はよくないと思う。地域の関わりは必要だと思う。

自治会業務の簡素化

自治会に加入するメリットがない

公安警察とつながりを持った自治体を作り権威を持った防犯活動をする

子供が増えないと！

交番等の増設

自治会の役員が当たることや、ムダな飲み会などがあり、入りたくない世代がいても当然。でも災害時にご近所の助け合いが一番大切なことを、地道に若い世代に伝えるべき。先回の東小連合の防災訓練は実際的だったと思います。

【その他の内容】②

自治会に入っていないと生活に困る環境を作る

自治会、子供会、婦人会などの役が負担

淀川右岸を切らせない取組み

自治会内のみまもり体の充実

時代の流れで自治会未加入も仕方ないと思う

自治会加入により負担が大きくなりやめたい

災害が起きた際にどう行動したら良いのか各世帯にパンフレット等を配布

IT活用

地域活性化人材の育成、コミュニティに地力がある今から着手

既存の自治会の運営を一新するべき。有事、防災に力を入れるべき。これ以外に必要なし

新しく引っ越して来た人をよそ者扱いし、自治会費だけを払わせとにかく、いやな思いをしたので昔からの住人の感覚を変えるか、別で活動する方法を考えてほしい

ITを活用してネット上での地域の結びつきを強める

外国人を少なくする

年金受給年利引き上げに伴い地域活動参加が厳しい状況 生活して行く事を優先に考えざるを得ない

自治会の外注促進（公園の草むしり、夜警など）

自治会役員にあたると行事が負担。気候変動での（地域の）運動会はいつか大変な事が起こりそう。

でも役にあてれば参加しなくてはいけない。無理はしない様と云われても・・・言葉だけの・・・。参加する事事態しんどい。

先住民が新しく来た人を受け入れようとしない傾向があるように思う

SNS等相互情報交換できるものの活用

自治会に加入してなくても地域で交流できる方法を考える。昔からある自治会は加入してないとのけものにされた感じが残っている。新しい交流方法が何かあれば新旧の世帯が上手く交流できるかも。

親子共働きや勤務時間の多様化を加味した新たな時代背景に合わせた新しい形の自治会を考える

災害想定した自治会としての取り組みを通じ、発生時自治会への加入が重要であるとの認識の徹底の周知

別に自治会があっても変わらないと思う。加入率が低いなら廃止しても同じ。そもそも今の若い世代は他者との関わりを重要視していない

新しい形の自治会や子ども会

行政が自治会にたよりきっていて自治会員に負担がかかる。動員動員で土日がつぶれる。自治会がない地域は何もしてくれない。あげくのはてに非会員はゴミまでだすなどと言われる。市民税払って住んでます。

自治会改革

自治会の加入率を向上させる取組、原因の分析

自治会に加入する際のメリット面よりも、デメリット面（役員の負担や会費の捻出など）を唱え、未加入・非加入を良しとする風潮ができてつつあるが、最も深刻な問題だと考える。コミュニティ活動のメリットを魅力あるものにし、「自治会に加入するほうが良い」とみんなが思い、加入率を上げていくことが最大の課題と考える。

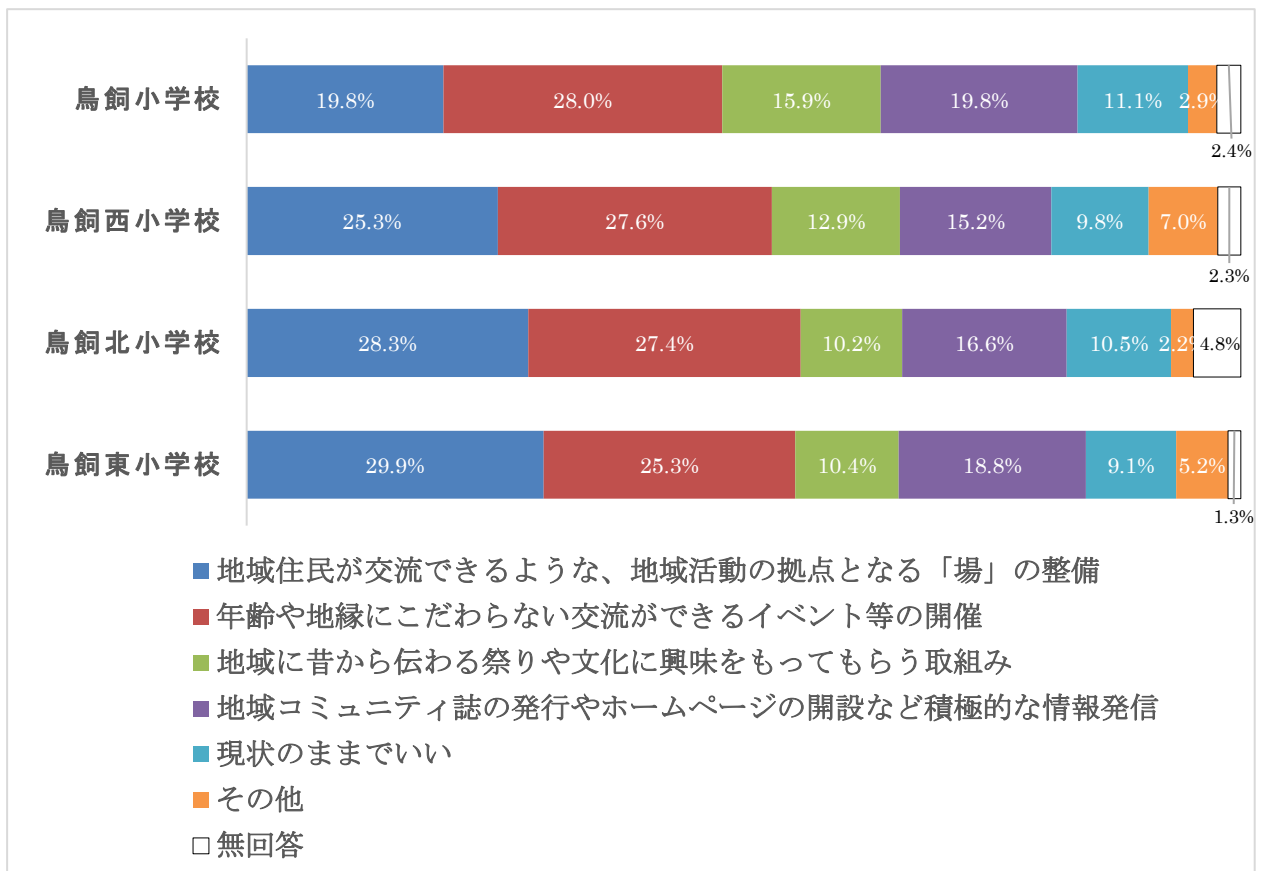
地域の活動していただける人材育成

雇用関係など現物給付があるなら活動し、地域や自治会など無給ボランティアについては無駄であったり、関心がないという住民をつくらないこと

市民全員自治会に入る仕組みとする

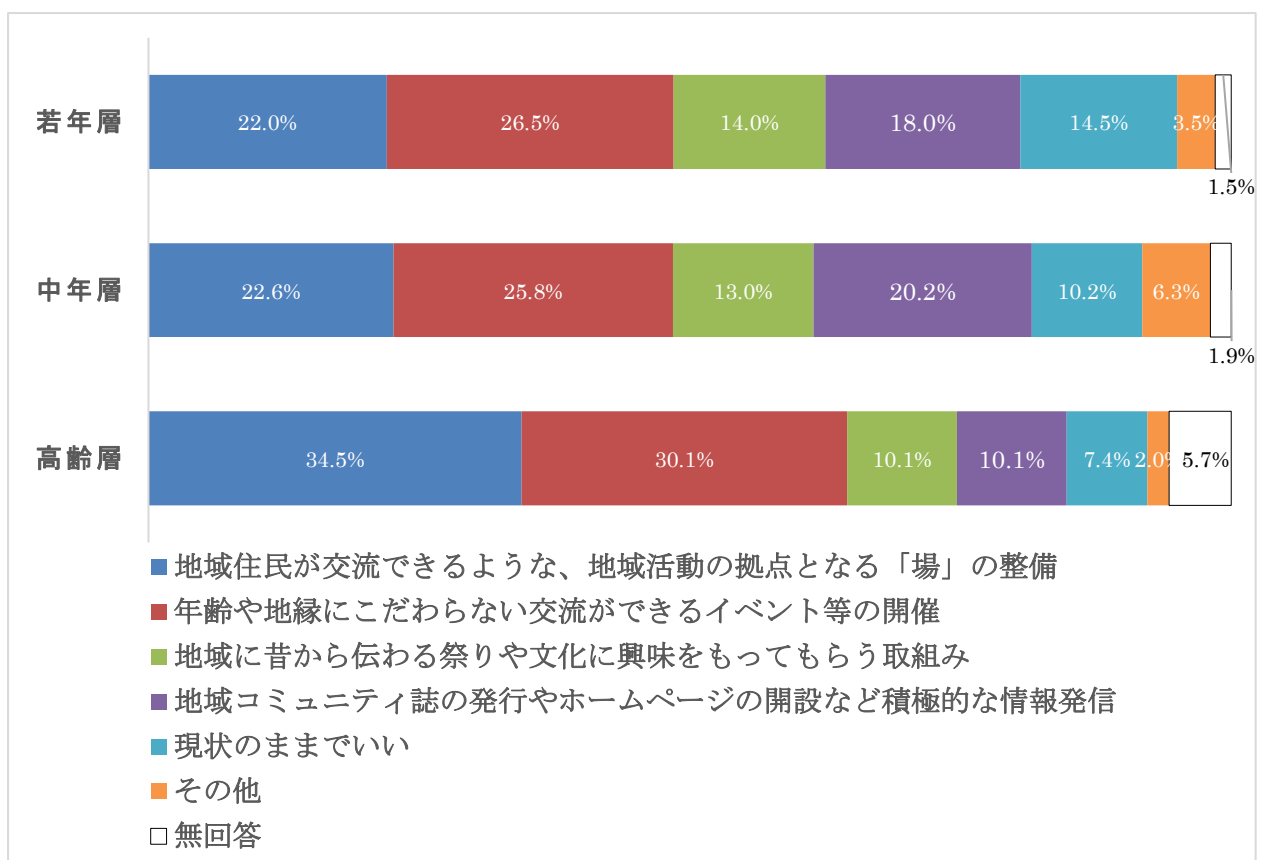
【最重視するもの】①小学校区別

- 鳥飼小学校区では「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」が「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」と同率の19.8%となっている。
- 鳥飼小学校区と鳥飼西小学校区では「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」がそれぞれ28.0%、27.6%で最も多くなっている。
- 鳥飼北小学校区と鳥飼東小学校区では「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」がそれぞれ28.3%、29.9%で最も多くなっている。



【最重視するもの】②年齢階層別

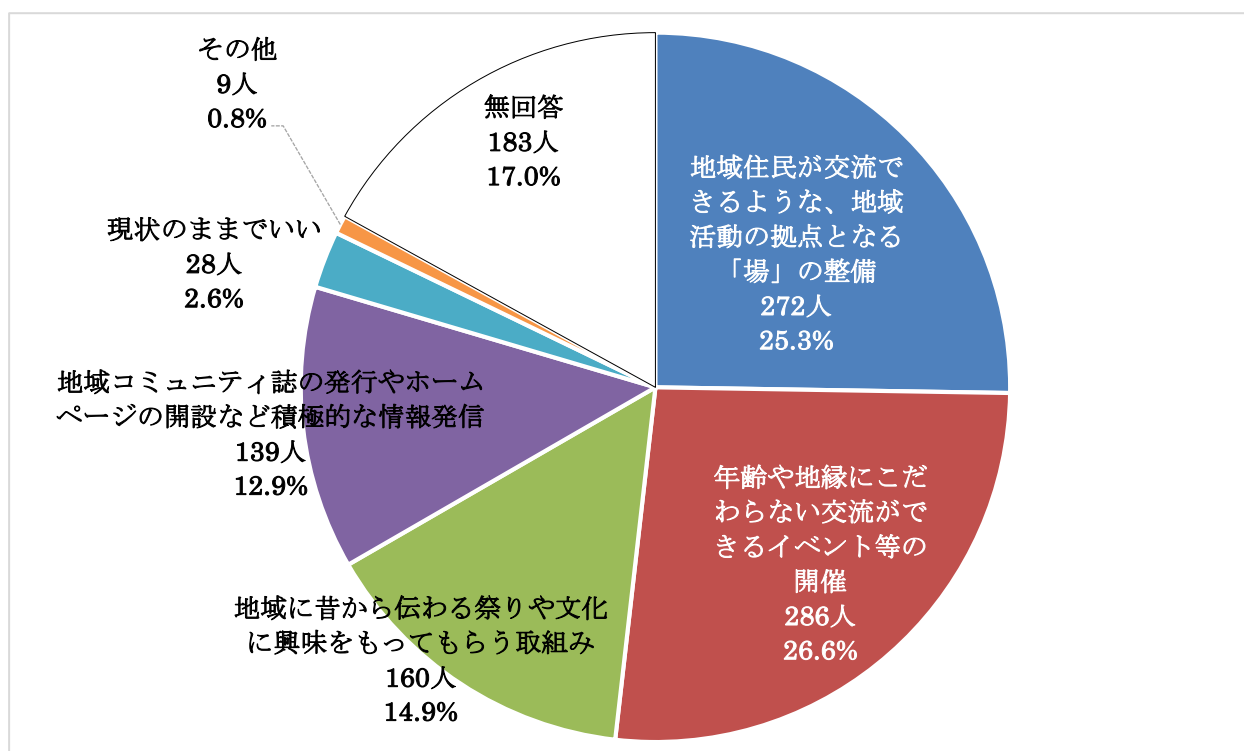
- 若年層と中年層では「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」が最も多く約26%となっている。次いで「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」が第2位、「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」が第3位であるが、いずれも大きな差は出ていない。
- 高齢層では「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」34.5%と「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」30.1%が特に多くなっている。「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」は10.1%で若年・中年層の半分程度になっている。



【次に重視するもの】（回答者全体）

- 「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」が26.6%（286人）で最も多く、次いで「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」の25.3%（272人）であった。
- 以下「地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み」の14.9%（160人）、
「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」の12.9%（139人）と続く。
- 無回答が17.0%（183人）と多いのも特徴である。

選択項目	回答実数	構成比
1. 地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備	272人	25.3%
2. 年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催	286人	26.6%
3. 地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み	160人	14.9%
4. 地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信	139人	12.9%
5. 現状のままでいい	28人	2.6%
6. その他	9人	0.8%
無回答等	183人	17.0%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

外国人を少なくする

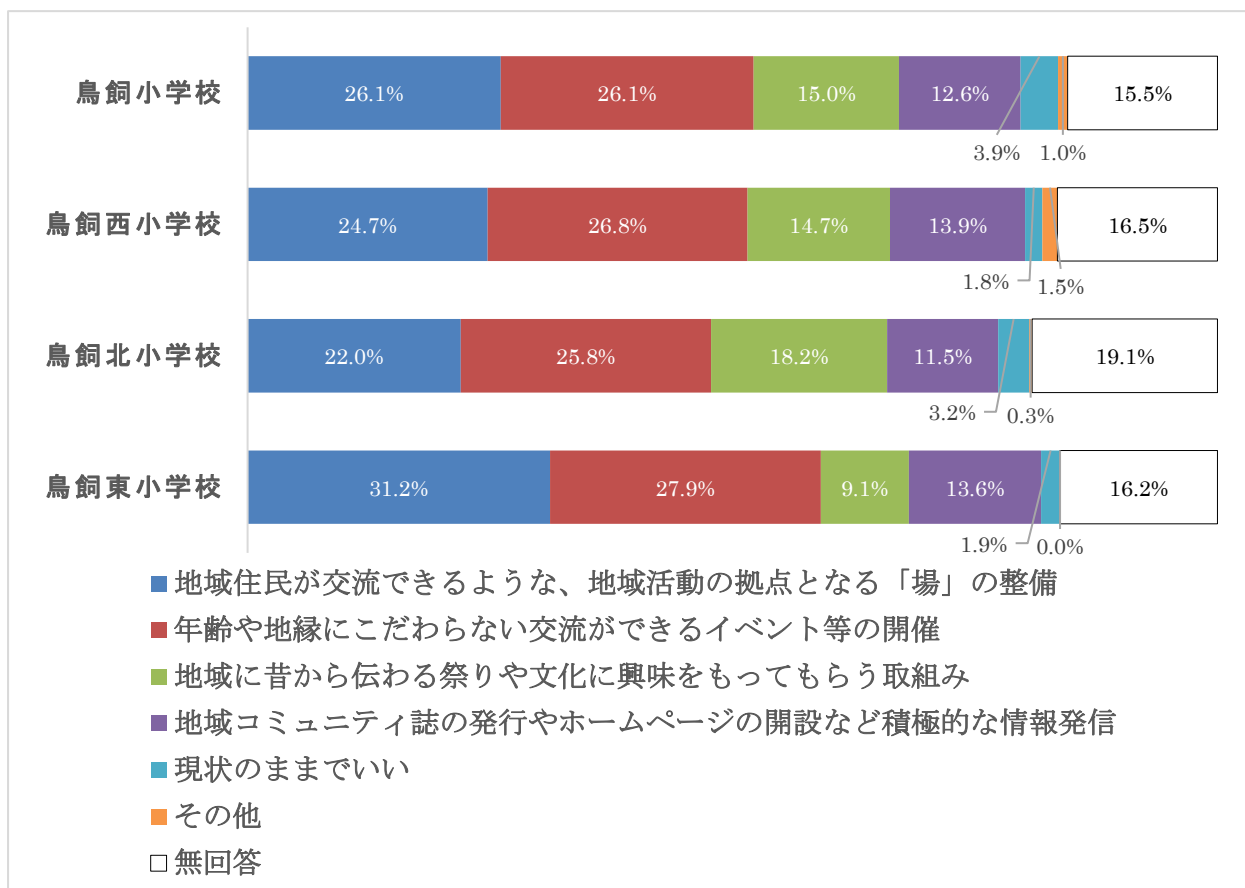
年金受給年利引き上げに伴い地域活動参加が厳しい状況 生活して行く事を優先に考えざるを得ない

自治会の外注促進（公園の草むしり、夜警など）

自治会役員にあたると行事が負担。気候変動での（地域の）運動会はいつか大変な事が起こりそう。でも役にあたれば参加しなくてはいけない。無理はしない様と云われても・・・言葉だけの・・・。参加する事事態しんどい。

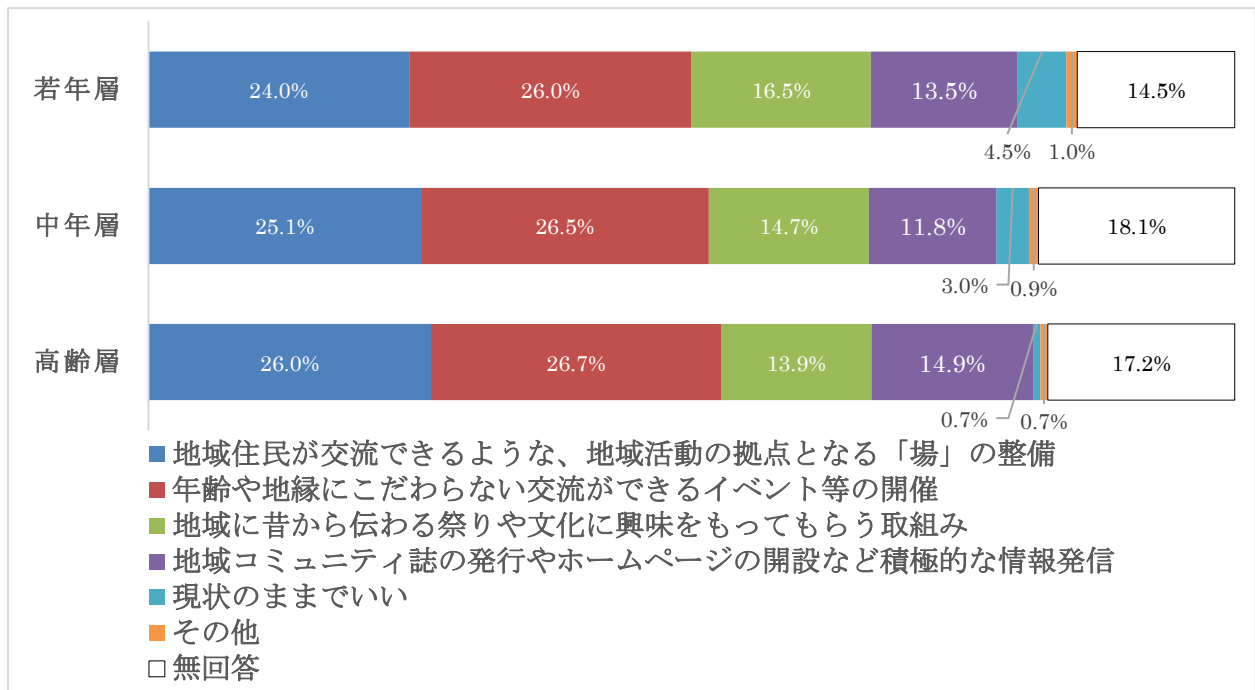
【次に重視するもの】①小学校区別

- 鳥飼東小学校区では「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」が31.2%と最も多く、最重視と合わせて61%になっている。
- 代わって「地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み」が9.1%と他校区と比べて低い比率となっている。



【次に重視するもの】②年齢階層別

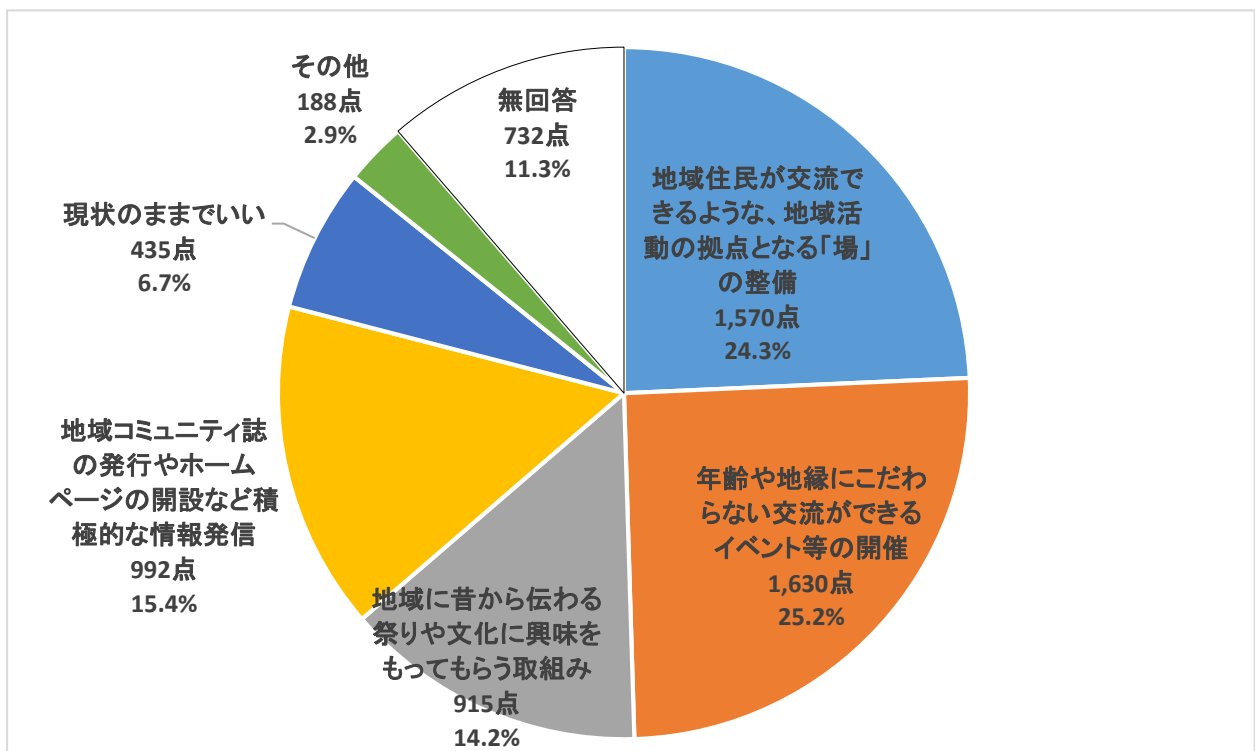
- 年齢階層で際立った違いは見られない。
- 中年層、高齢層では無回答が多い。



●問5 コミュニティについて【総合評価】

- 「年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催」が全体の25.2%となる1,630ポイント、次いで「地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備」が24.3%（1,570ポイント）であり、拮抗している。
- さらに、「地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信」15.4%（992ポイント）、「地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み」14.2%（915ポイント）と続いている。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. 地域住民が交流できるような、地域活動の拠点となる「場」の整備	279人	272人	189人	1,570点 (24.3%)
2. 年齢や地縁にこだわらない交流ができるイベント等の開催	294人	286人	176人	1,630点 (25.2%)
3. 地域に昔から伝わる祭りや文化に興味をもってもらう取組み	132人	160人	199人	915点 (14.2%)
4. 地域コミュニティ誌の発行やホームページの開設など積極的な情報発信	183人	139人	165人	992点 (15.4%)
5. 現状のままでいい	109人	28人	52人	435点 (6.7%)
6. その他	49人	9人	23人	188点 (2.9%)
無回答等	31人	183人	273人	732点 (11.3%)
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点 (100.0%)



●問6 防災について

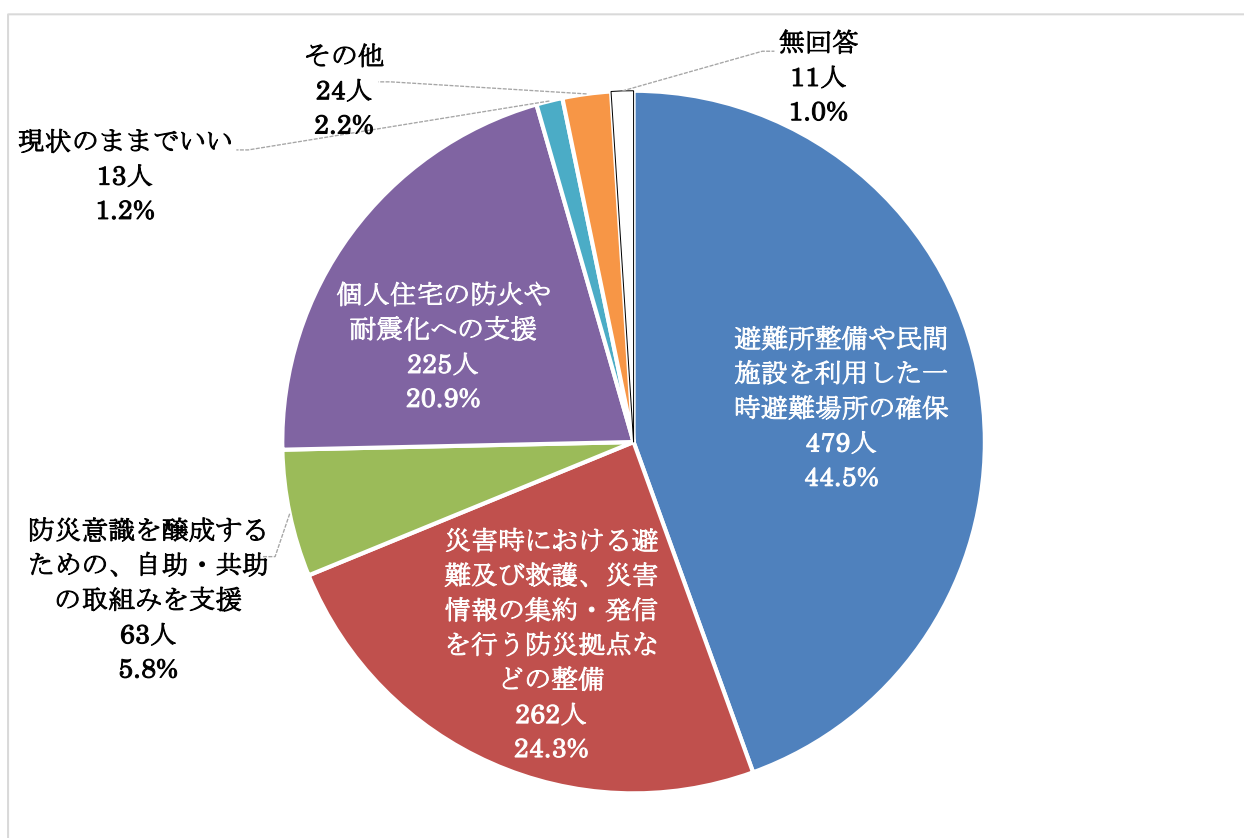
近年の気候変動等に伴い、異常気象の発生頻度が増加傾向にあります。

豪雨災害をはじめ、様々な自然災害に備え、防災・減災の視点で特に望ましいと思う取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- ・「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」が44.5%（479人）で最も多く、次いで「災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備」の24.3%（262人）、「個人住宅の防火や耐震化への支援」の20.9%（225人）の順であった。
- ・「防災意識を醸成するための、自助・共助の取組みを支援」は5.8%と低い値になっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. 避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保	479人	44.5%
2. 災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備	262人	24.3%
3. 防災意識を醸成するための、自助・共助の取組みを支援	63人	5.8%
4. 個人住宅の防火や耐震化への支援	225人	20.9%
5. 現状のままでいい	13人	1.2%
6. その他	24人	2.2%
無回答等	11人	1.0%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

安威川と淀川の堤防強化を望む。台風をなれば安威川が心配！防災マイクが聞き取りにくい

河川の整備（底さらい 雑草樹木除去 堤防見直し）

最近の大雨とコロナで避難場所は頼りにならない（1世帯最低の災害時の用品 e t c 配布して欲しい）

この地域は避難所でさえ浸水エリアにあるのが非常に心配。本気でどこに行けばいいか、どうするか考えてほしい。

緊急時に日用品の買い占めが起こらないような仕組み作り

大型商業施設の誘致をして高い立派な建物を建てて貰う

無計画な街づくり（開発）では脆弱すぎる。※淀川が決壊（上流の放水で）した時無計画に建てられた建売住宅から避難できますか？又大型車が入ってこれますか？

淀川及び安威川の堤防の高さ表示を電柱に250Mぐらいの間で示してほしい。ハザードマップでは不親切。いつも目にしていれば防災にたいしての意識が強くなると思う

トイレおふろをひなんしょにおおくせっちしてほしい

安威川氾濫想定時の避難の仕方、訓練

ハザードマップ等毎月地方誌と共に各家庭に配布して欲しい

災害時に役所が機能する事。想定外はなし

市長（市役所）をトップとした正確な情報発信→HPやSNS等

下水管の拡張の整備

災害の見える化（電信柱に堤防が決壊した時に水がどこまでくるかをそこらじゅうに表示するなど）

堤防の強化

動物の保護、飼育している動物と一緒に避難できる場所の確保

防災無線やそれに変わるサイレン等の整備、周知により避難への早期の自発的な準備行動を周知

流れていない小さな川が多すぎるのでその整備。下水関係がとても良くない

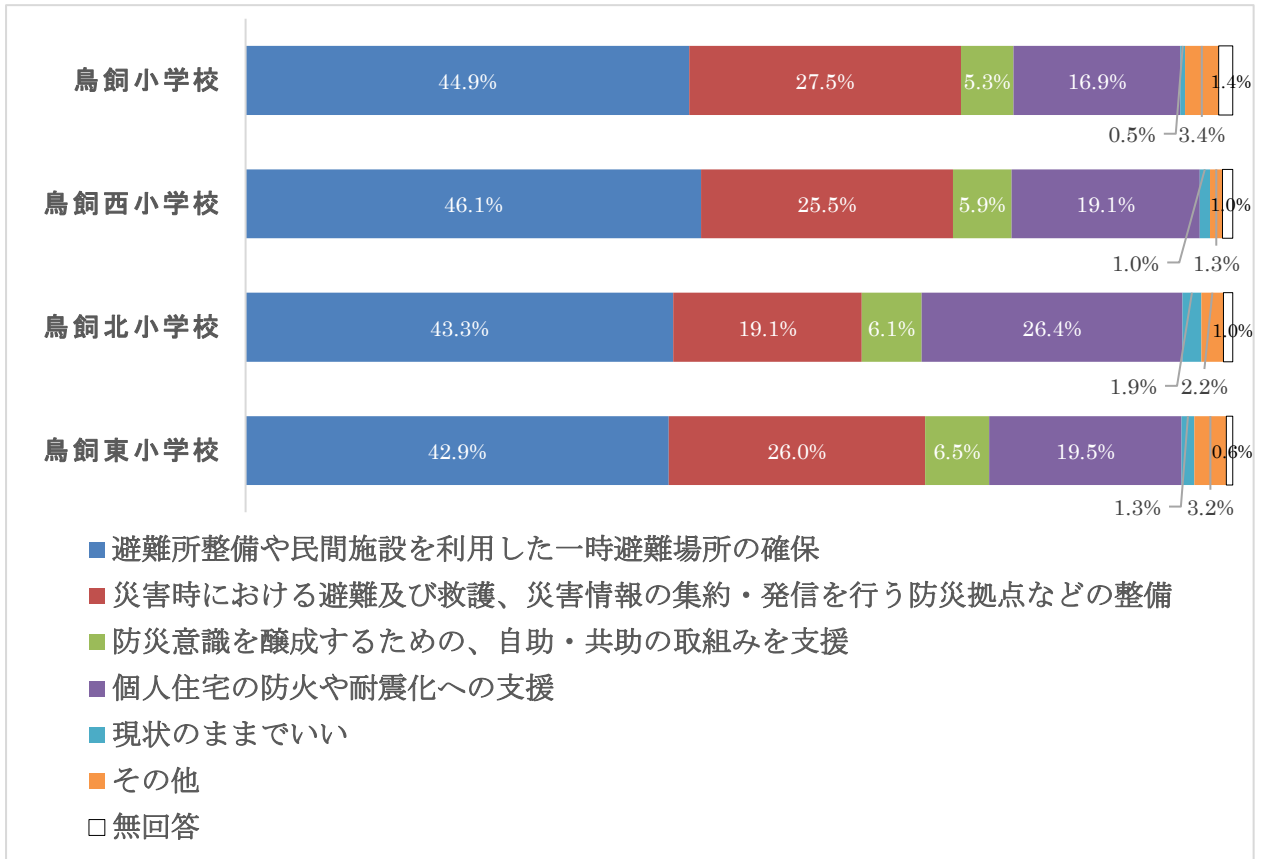
淀川スーパー堤防化

防災意識の向上

未記入 3件

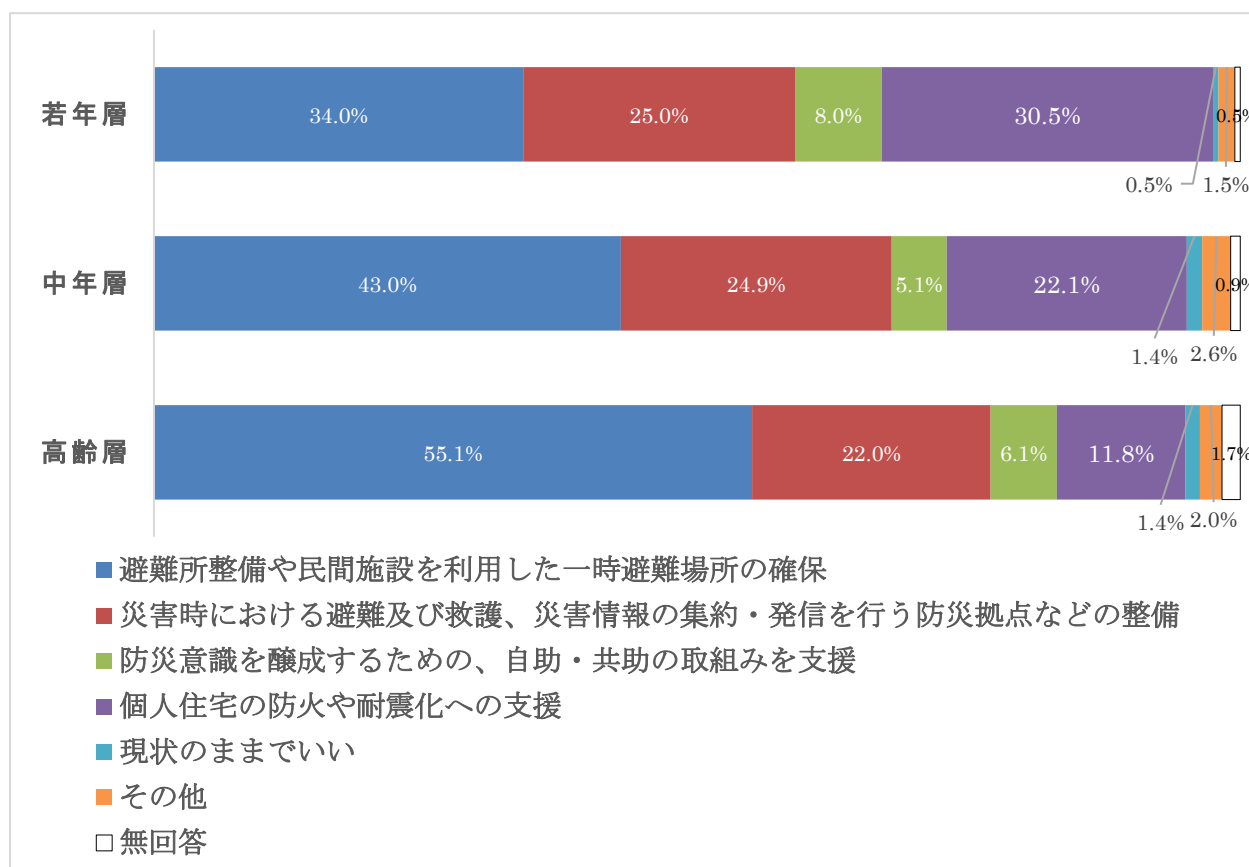
【最重視するもの】①小学校区別

- いずれの校区も「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」が45%前後を占め最も多い。
- 鳥飼北小学校区では「個人住宅の防火や耐震化への支援」が26.4%で第2位になっている。一方で、「災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備」が19.1%と他校区と比較して低くなっている。



【最重視するもの】②年齢階層別

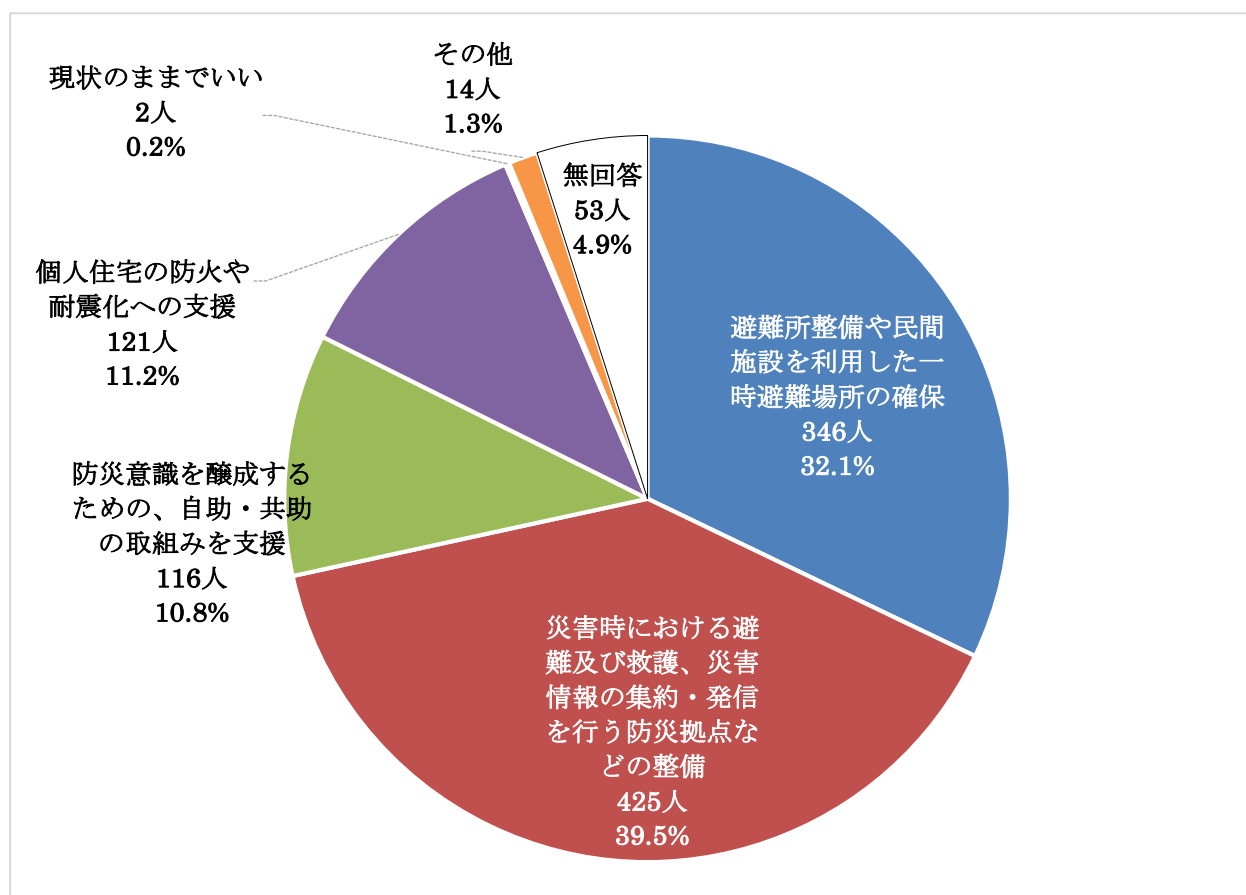
- 年齢階層が上がるほど「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」の比率が高くなり、高齢層では55.1%に達した。
- 逆に、年齢階層が下がるほど「個人住宅の防火や耐震化への支援」が上がり、若年層では30.5%で第2位になっている。



【次に重視するもの】（回答者全体）

・「災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備」が39.5%（425人）で最も多く、次いで「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」が32.1%（346人）であった。この2選択肢で7割以上を占めている。

選択項目	回答実数	構成比
1. 避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保	346人	32.1%
2. 災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備	425人	39.5%
3. 防災意識を醸成するための、自助・共助の取組みを支援	116人	10.8%
4. 個人住宅の防火や耐震化への支援	121人	11.2%
5. 現状のままでいい	2人	0.2%
6. その他	14人	1.3%
無回答等	53人	4.9%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

住民への避難所場所への周知が必要！知らない人多い！

水害対策 スーパー堤防が必要（淀川）

防災グッズ、非常食等を各自治会が確保しておく（ローリングストック）

一時避難場におけるいきすぎた干渉の??

台風や豪雨等に対しての市内の危険個所の点検・整備

避難場所の情報を市民へ周知化（避難場所を知っていたとしてもいざとなった時どこに行けば良いか、空いているかなどがわからないため）

個人住宅の浸水時の避難設備となる建築物の支援と許可

空き家をなんとかしてほしい。前回の台風や地震の後のビニールシートなどかかっているが、風ではがれたり近くを通るとこわい

家を建て替え建築する時補助金を出す耐震補強を！水害に強い家 住宅メーカーと協力 世界に発信！津波にも強い家！

地域で避難をよびかけ等をする為の警報器等の設置

学校に避難しても危険。学校に集中する。民間施設を至急に整備！

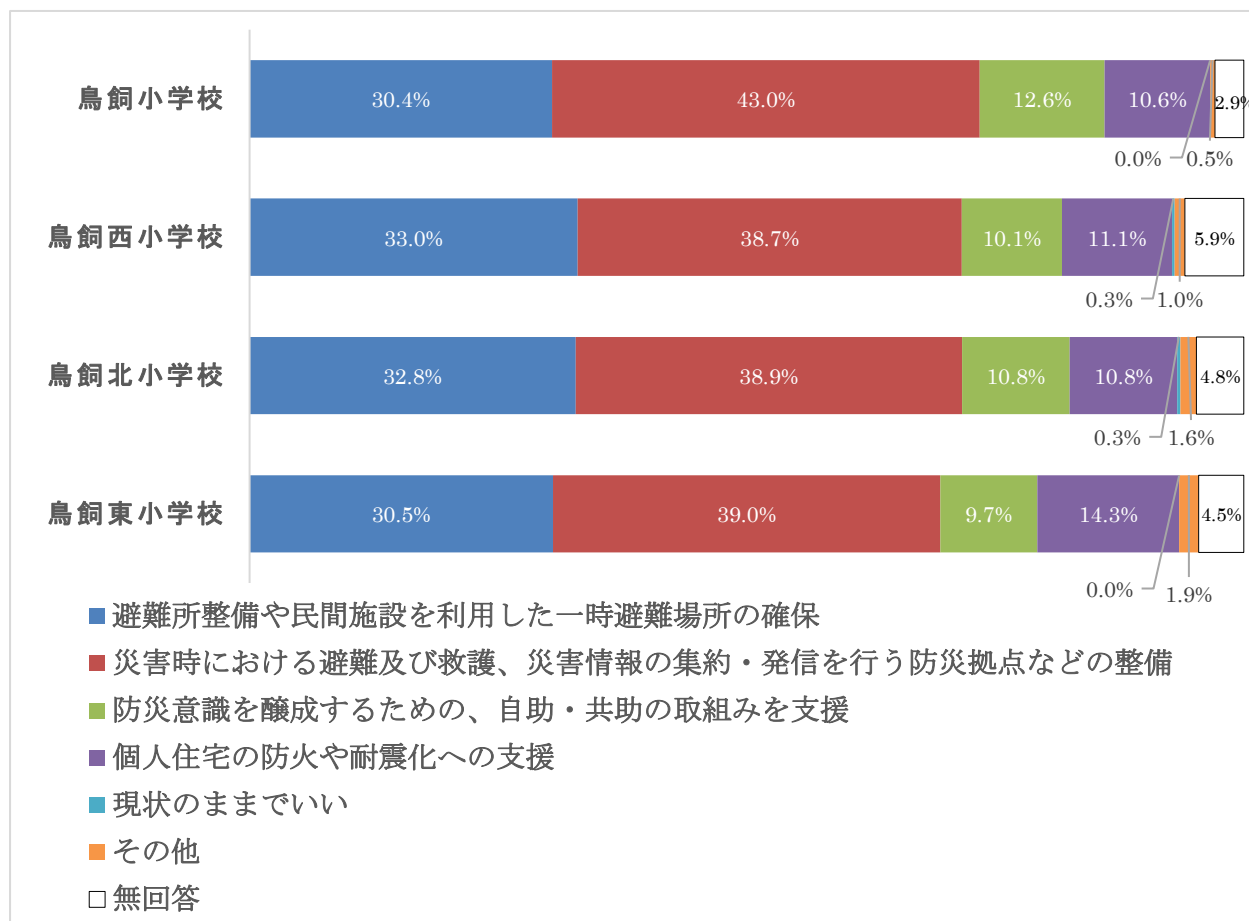
避難訓練の実施

防災放送の見直し。音割れがひどく聞きとれない。聞こえない場所が多い。

防災センター、鳥飼西地区に必要

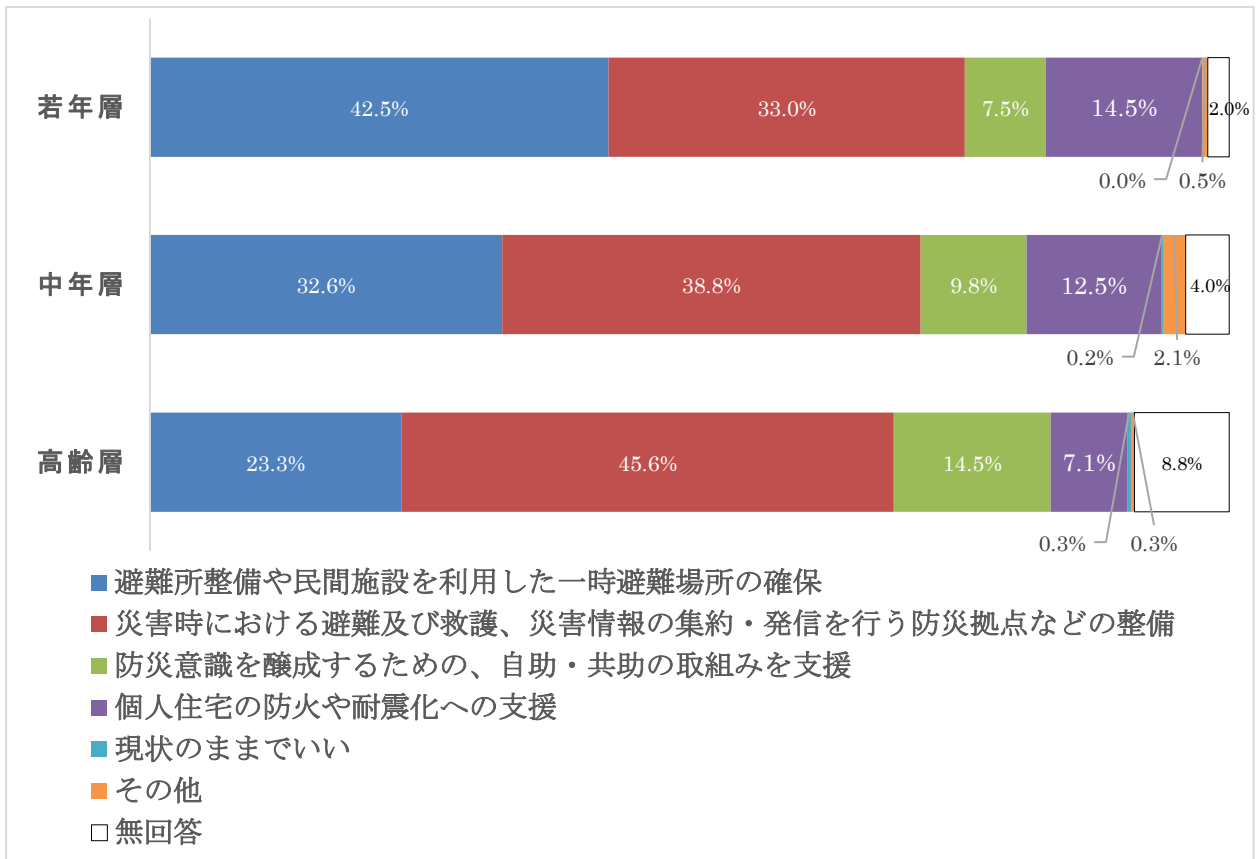
【次に重視するもの】①小学校区別

・校区別で際立った傾向の差はみられない。



【次に重視するもの】②年齢階層別

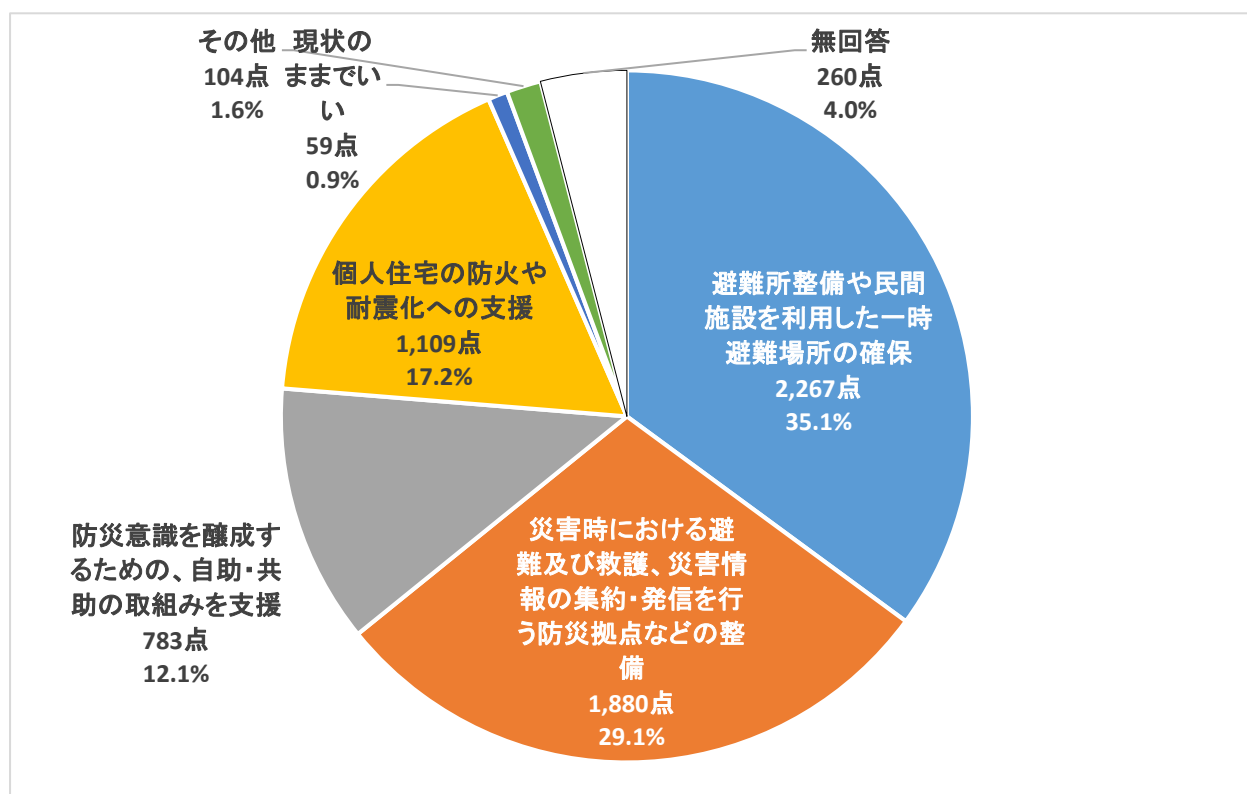
- 年齢階層が下がるほど「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」が高く、若年層では42.5%を占める。
- 逆に年齢階層が上がるほど「災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備」が増え、高齢層では45.6%を占める。



●問6 防災について【総合評価】

- 「避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保」が全体の35.1%となる2,267ポイント、次いで「災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備」が29.1%（1,880ポイント）、「個人住宅の防火や耐震化への支援」17.2%（1,109ポイント）となっている。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. 避難所整備や民間施設を利用した一時避難場所の確保	479人	346人	138人	2,267点 (35.1%)
2. 災害時における避難及び救護、災害情報の集約・発信を行う防災拠点などの整備	262人	425人	244人	1,880点 (29.1%)
3. 防災意識を醸成するための、自助・共助の取組みを支援	63人	116人	362人	783点 (12.1%)
4. 個人住宅の防火や耐震化への支援	225人	121人	192人	1,109点 (17.2%)
5. 現状のままでいい	13人	2人	16人	59点 (0.9%)
6. その他	24人	14人	4人	104点 (1.6%)
無回答等	11人	53人	121人	260点 (4.0%)
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点 (100.0%)



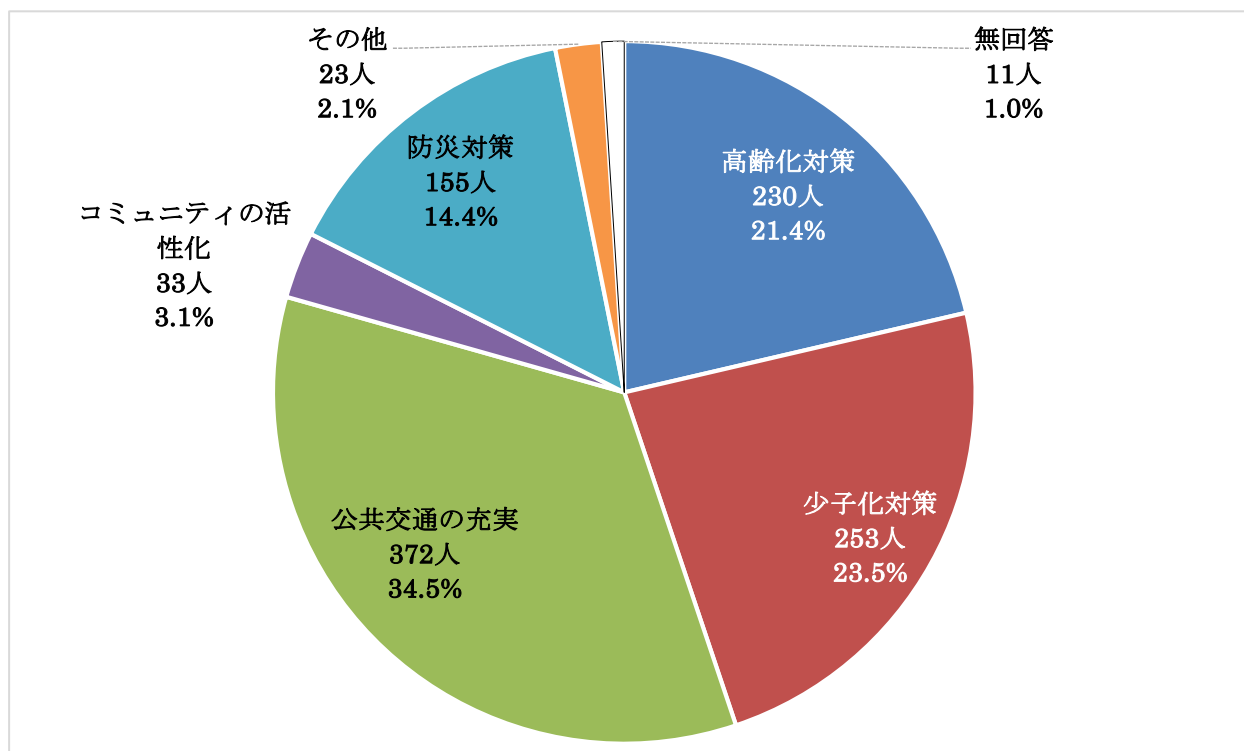
●問7 まちづくり全体について

今後の鳥飼地域のまちづくりにおいて、最も大事だと思われる取組みとして、次の項目のなかで特に希望するものを三つまで選んで、重視する順に番号を【回答欄】の左から記入してください。

【最重視するもの】（回答者全体）

- ・「公共交通の充実」が34.5%（372人）で最も多く、次いで「少子化対策」の23.5%（253人）、「高齢化対策」の21.4%（230人）の順であった。
- ・さらに、「防災対策」が14.4%（155人）が続いている。
- ・「コミュニティの活性化」は3.1%（33人）と低い値になっている。

選択項目	回答実数	構成比
1. 高齢化対策	230人	21.4%
2. 少子化対策	253人	23.5%
3. 公共交通の充実	372人	34.5%
4. コミュニティの活性化	33人	3.1%
5. 防災対策	155人	14.4%
6. その他	23人	2.1%
無回答等	11人	1.0%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

摂津市に住む人の数を増やす施策がよい

地域差が有るのは理解するが摂津に住んで40年以上良くなったと思うことは無い！！もっと市民にあった（地域）仕事をして欲しい！！市長は摂津という聞きなれない市をもっとアピールする努力と援助

地域の景観の向上 道路の整備 公園の整備 教育レベルの改善向上

外食産業（特にファミレスと宴会）の誘致策、支援が必要。鳥飼地区で過去に閉店、店舗の？様など行政も考えるべき。単なる市民層の問題ではなく、商業（特に飲食施設）の振興策を市独自で取り組むべき。「出店支援金や市独自のポイント活用など考えるべきでは。

区画整理

TV（すぎるTV）でかなりとりあげられてるので、もっとアピールをしては？

子育て世代の世帯が住みやすい府営市営住宅を建てる

隣接市からの買い物客を集められる商業施設を開発する

スーパーがない（近くに）

無秩序な不動産開発

市民文化ホールの小型版（文化・人権・交通等の研修、大会に。参加・出席しやすい

安心して行ける総合的な市民病院

鳥飼に居住したら千里丘、岸边、正雀より税制優遇

高齢者の認知予防の為に各個人が出かけたくなるようなコミュニティな場所や行事を各地区に設けて欲しい

コストコなどのスーパーが進出希望 北大阪地区のコストコ進出 北部市場近くに有りやすとものどこいこで！TVで見たいです

一津屋の交差点の交通渋滞対策（行政としてはほぼ対策してないのが不思議でしかたない）

新幹線基地と貨物基地の北側地域の整備

摂津に住みたいと思える他の地域に無い魅力

治安、防犯の強化。安いディスカウントショップが多いので外国の方、低所得の方が集まるので変質者、万引きが多い気がします。高齢の方に見守っていただいたり（登校、下校の時）して頂くとありがたい。

教育をよくする。学力の向上。

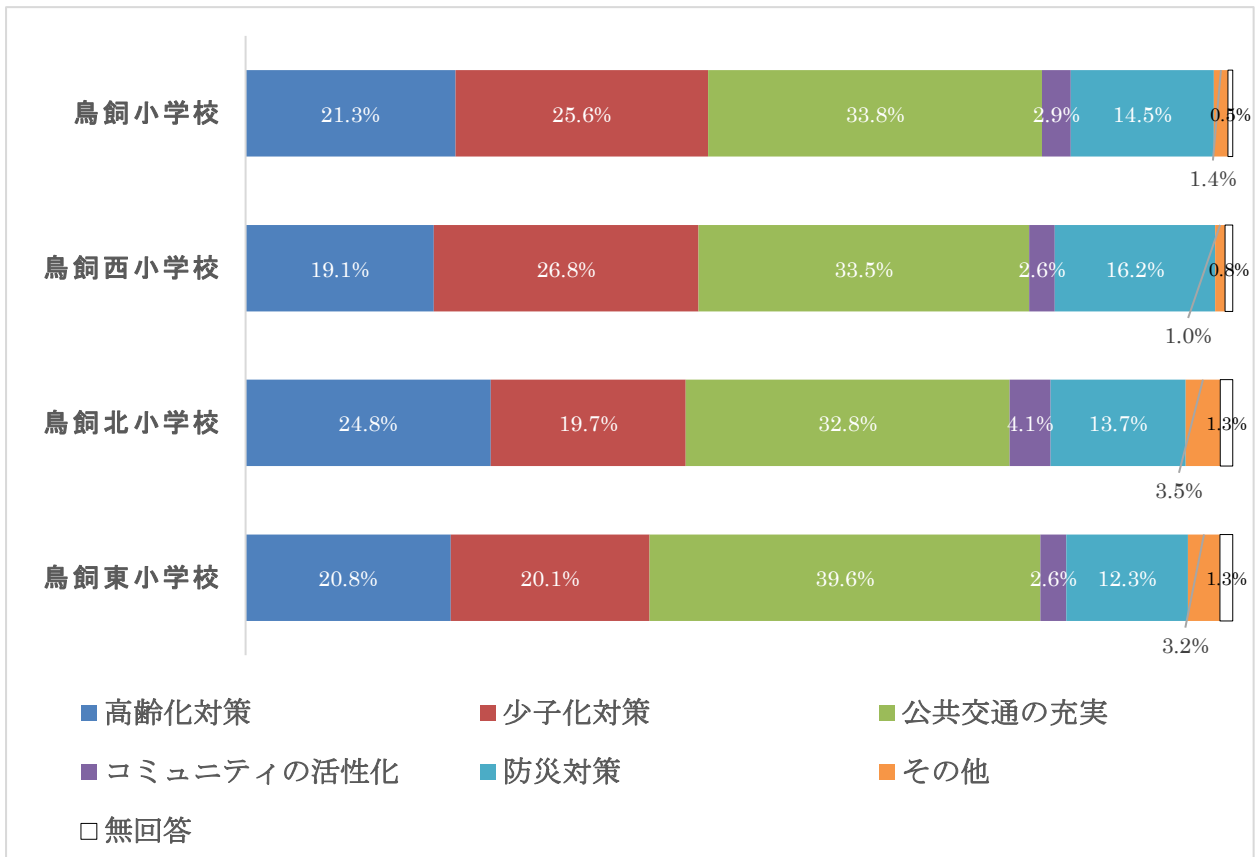
子供の遊べる、運動できる場所を！設備に力を入れてほしい

現在の若い世代の人たちが、30年後もこの鳥飼に住み続けたいと思えり環境を目指す事

未記入 1件

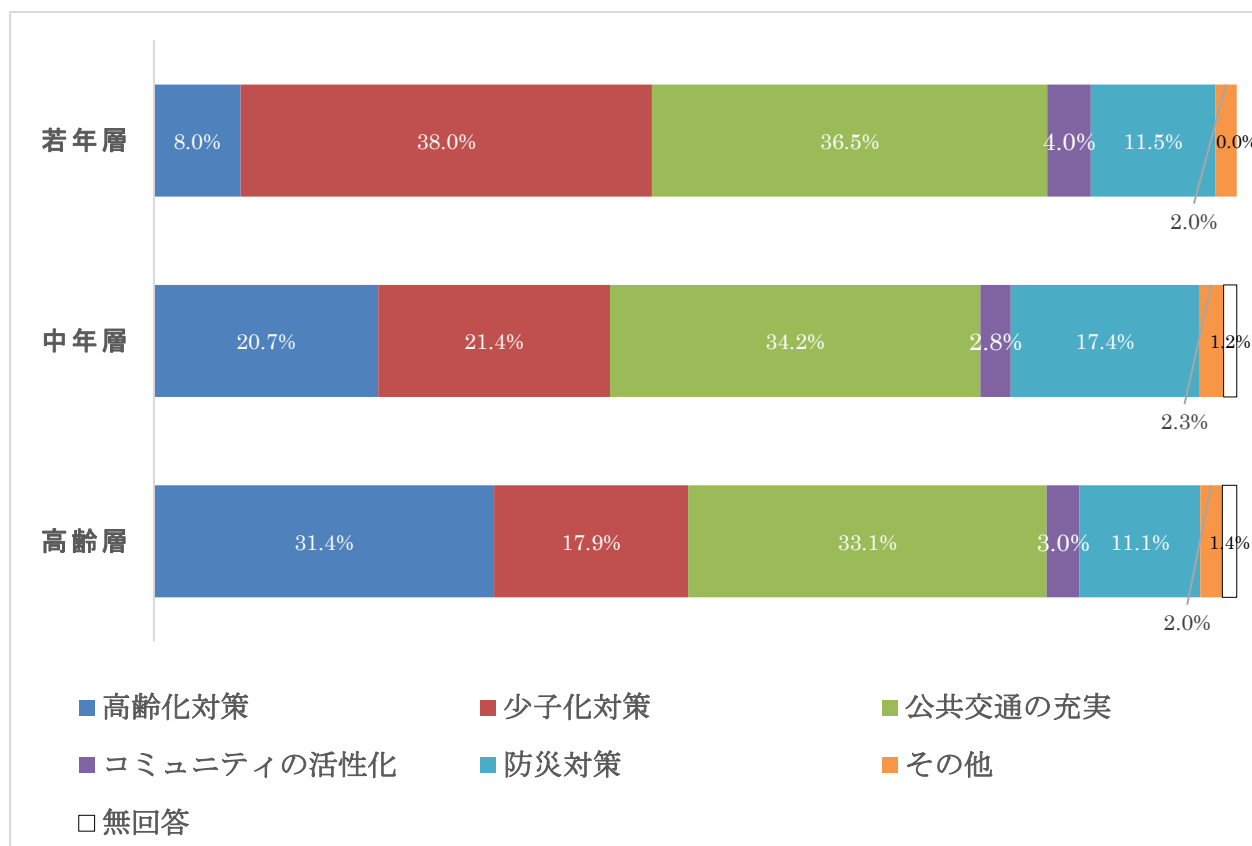
【最重視するもの】①小学校区別

- いずれの校区も「公共交通の充実」が32～40%を占め最も多い。
- 鳥飼小学校区、鳥飼西小学校区では「少子化対策」がそれぞれ25.6%、26.8%で次に多い割合を占めている。
- 鳥飼北小学校区、鳥飼東小学校区では「高齢化対策」がそれぞれ24.8%、20.8%で次に多い割合を占めている。



【最重視するもの】②年齢階層別

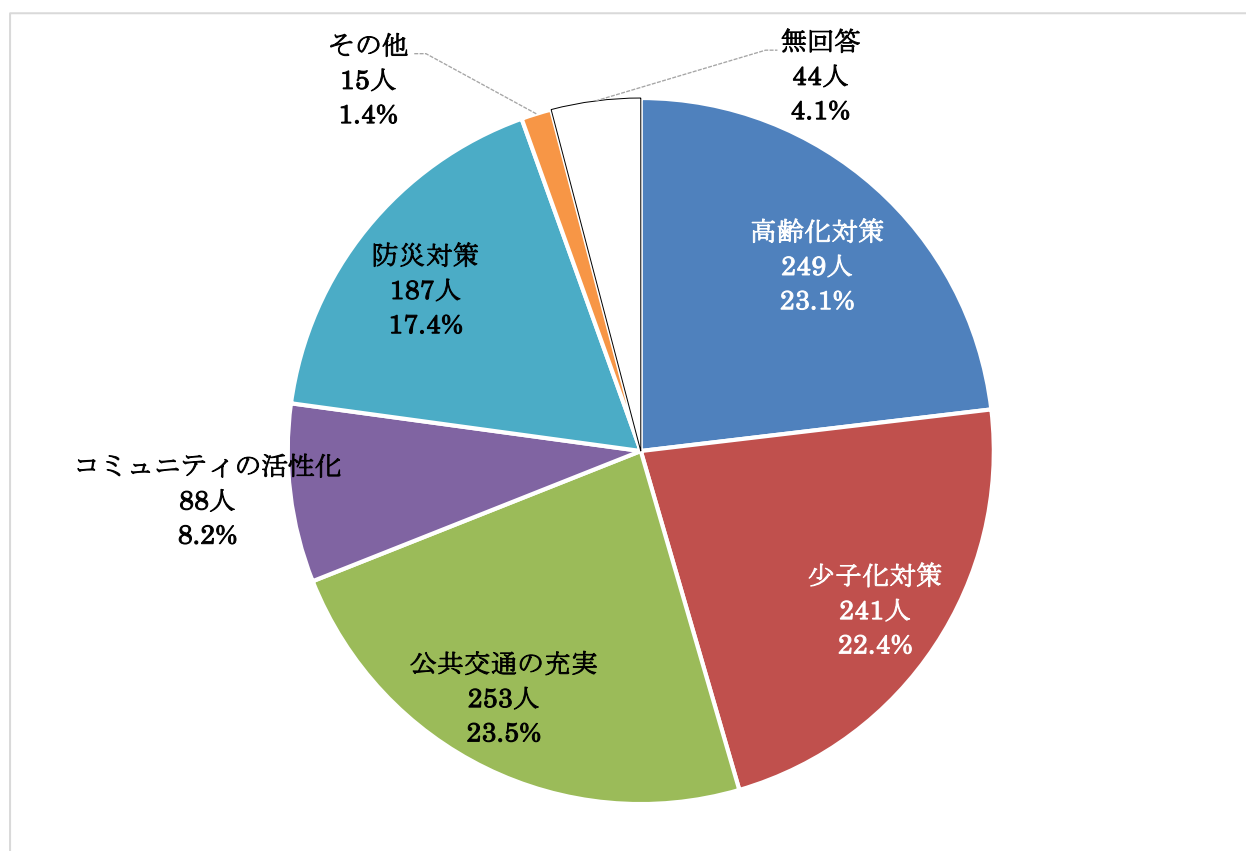
- 全体で最上位である「公共交通の充実」は、いずれの年齢階層でも35%前後の高い比率を占めている。
- その中で、若年層では「少子化対策」の比率が38.0%で第1位となっている。
- 高齢層では、「高齢化対策」が31.4%と高い値で第2位になっている。
- 中年層では「防災対策」の比率が他の階層よりやや高くなっている。



【次に重視するもの】（回答者全体）

- 次に重視するものでも「公共交通の充実」が23.5%（253人）で最も多く、次いで「高齢化対策」が23.1%（249人）、「少子化対策」が22.4%（241人）と続く。この3つの間に大きな比率の差はみられない。
- 「防災対策」は17.4%（187人）であった。

選択項目	回答実数	構成比
1. 高齢化対策	249人	23.1%
2. 少子化対策	241人	22.4%
3. 公共交通の充実	253人	23.5%
4. コミュニティの活性化	88人	8.2%
5. 防災対策	187人	17.4%
6. その他	15人	1.4%
無回答等	44人	4.1%
総計	1,077人	100.0%



【その他の内容】

外国人が増え過ぎて不安 1人で外出しにくい。

住みたい町づくり、子供支援、人口増にむけたとりくみ

新婚さんが住みたい・・・と思うような住宅・街づくり

摂津市だったから！出来た強みを考えてとにかくやってみる。

買い物の利便性、市役所の支所を作る

今、買いもの、食事、病院は市外に行く。市内で充分対応できる施設の整備が重要

高齢者も働くことのできる仕事をあっせんする

障害者の施設をもっと増やしてほしい（幼児、乳児から入れる）

観光スポットはほぼない摂津市ですが他市他県から遊びにいっぱい来てくれる町に

人が集まる施設の誘致 大学、ショッピングセンター

商業施設の活性化

鳥飼（特に東側の地域）にもっと買い物できる店や飲食店を新しく増やして経済活性させるべき！店

はどんどんつぶれていくばかりで過疎化がすすむばかり。どこかへ買い物に出るにもバス本数がすくないし、駅までも遠すぎる

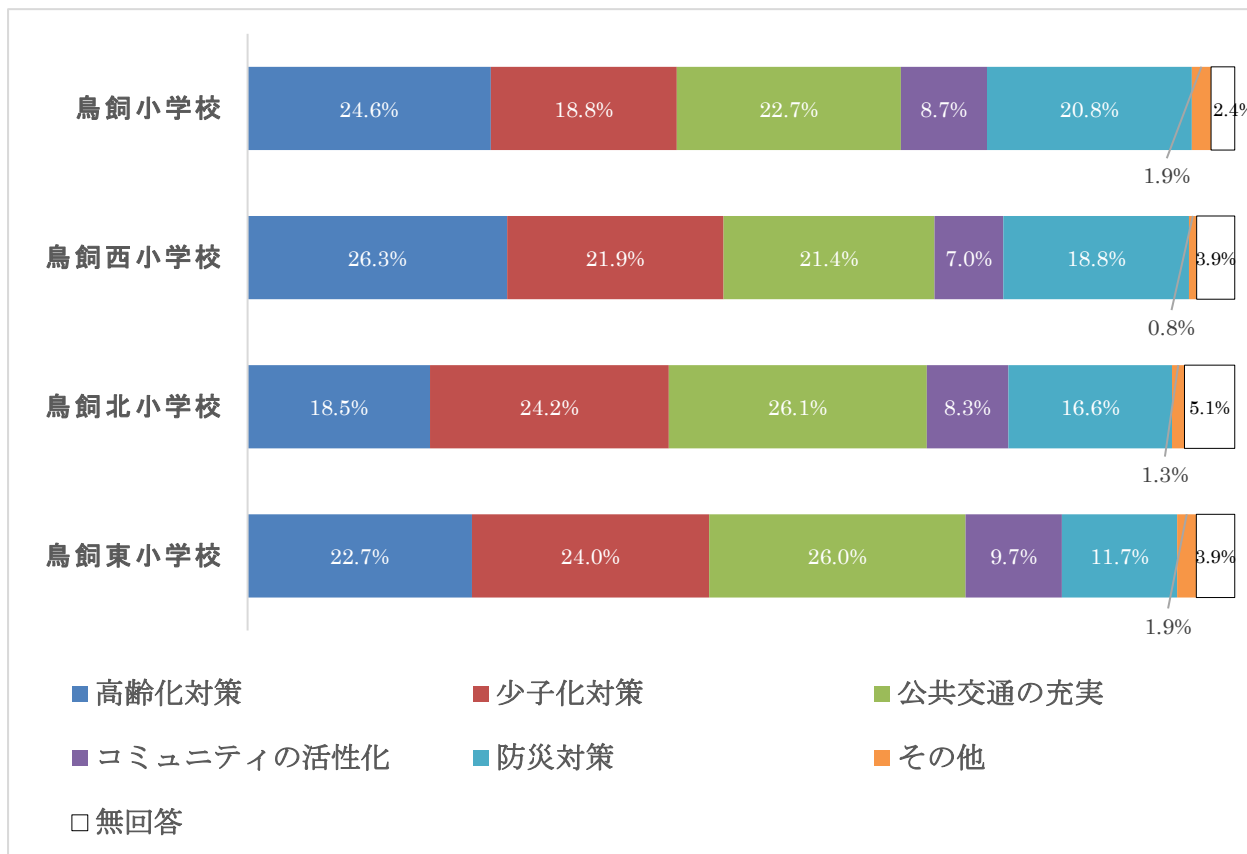
病院、介護施設等の充実

街を活性化する為の再開発、住みたくなる地域作り

風紀、町をきれいにする。ほどよいスーパーがほしい

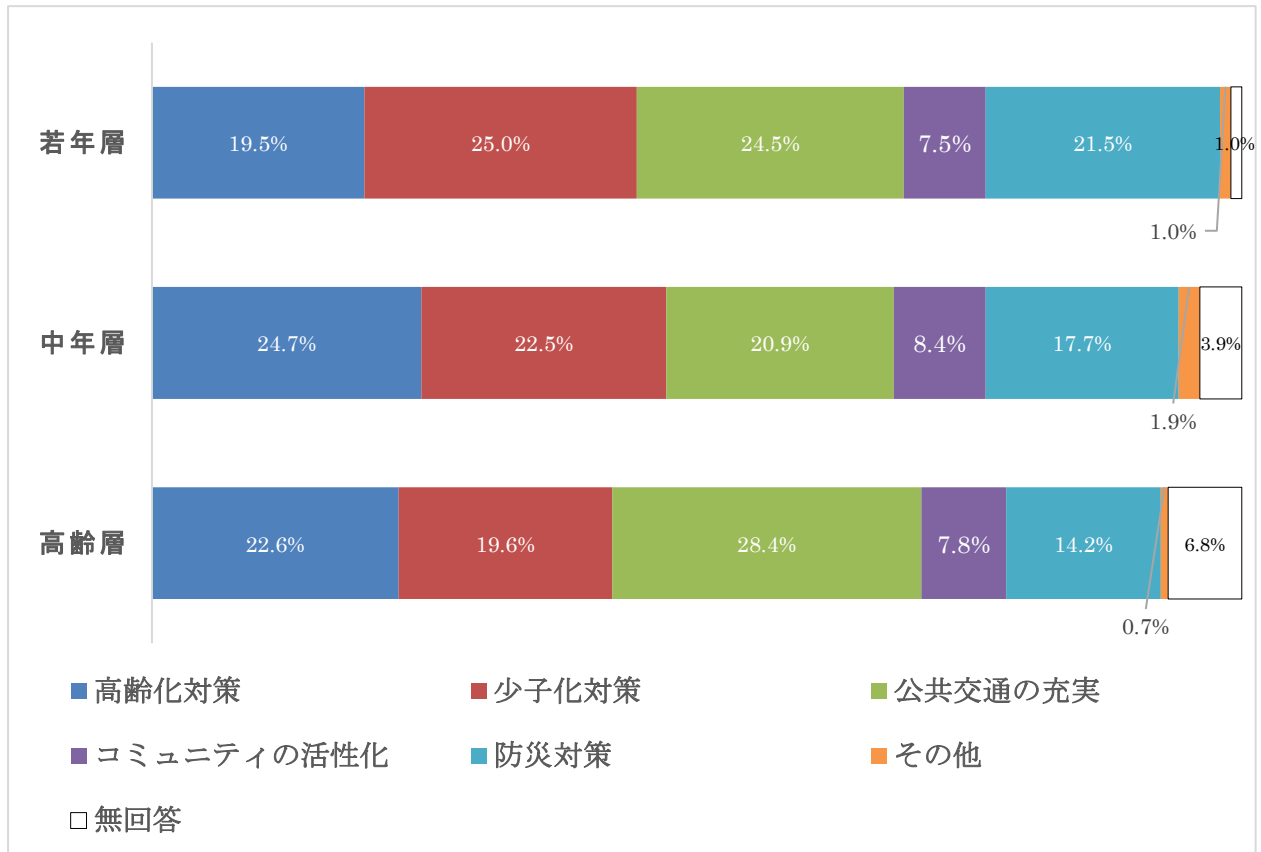
【次に重視するもの】①小学校区別

- 鳥飼小学校区、鳥飼西小学校区では「高齢化対策」が最上位になっている。
- 一方、鳥飼北小学校区、鳥飼東小学校区では「公共交通の充実」が最上位であった。
- 鳥飼東小学校区では、他校区と比べ「防災対策」の比率が11.7%とやや低くなっている。
- 上記のような細部の違いはみられるものの、全体として校区間での傾向の大きな差はみられない。



【次に重視するもの】②年齢階層別

- 若年層、中年層では、「高齢化対策」、「少子化対策」、「公共交通の充実」、「防災対策」がほぼ同じ割合となっている。
- 高齢層では「公共交通の充実」が28.4%と、他の階層と比べ高い比率となっている。



●問7 まちづくり全体について【総合評価】

- 「公共交通の充実」が全体の28.2%となる1,823ポイント、次いで「高齢化対策」が22.2%（1,432ポイント）、「少子化対策」が21.8%（1,410ポイント）となっている。

選択項目	回答実数（人）			総合得点（ポイント） ①×3+②×2+③
	①最重視	②次に重視	③3番目に重視	
1. 高齢化対策	230人	249人	244人	1,432点 (22.2%)
2. 少子化対策	253人	241人	169人	1,410点 (21.8%)
3. 公共交通の充実	372人	253人	201人	1,823点 (28.2%)
4. コミュニティの活性化	33人	88人	127人	402点 (6.2%)
5. 防災対策	155人	187人	228人	1,067点 (16.5%)
6. その他	23人	15人	9人	108点 (1.7%)
無回答等	11人	44人	99人	220点 (3.4%)
総計	1,077人	1,077人	1,077人	6,462点 (100.0%)

